

(様式第 10)

新大病医第 207 号
令和二年〇月〇〇日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人新潟大学
高橋

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 25 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏 名	国立大学法人新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

新潟大学医歯学総合病院

3 所在の場所

〒51-8520 新潟県新潟市中央区旭町通 1 番町754番地	電話(025) 223 - 6161
---------------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1呼吸器内科	②消化器内科
⑤神経内科	③循環器内科
9感染症内科	⑥血液内科
	7内分泌内科
	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
	4腎臓内科
	8代謝内科
	11リウマチ科
診療実績	
「1呼吸器内科」及び「9感染症内科」にて提供される医療は「呼吸器・感染症内科」において、「4腎臓内科」及び「11リウマチ科」にて提供される医療は「腎・膠原病内科」において、「7内分泌内科」及び「8代謝内科」にて提供される医療は「内分泌・代謝内科」において提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 <input checked="" type="checkbox"/> 1呼吸器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 2消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 6心臓血管外科 7内分泌外科 <input checked="" type="checkbox"/> 8小児外科	
診療実績 「3乳腺外科」及び「7内分泌外科」にて提供される医療は「乳腺・内分泌外科」において提供している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="checkbox"/> 1精神科 <input checked="" type="checkbox"/> 2小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 3整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 4脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 5皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> 6泌尿器科 <input checked="" type="checkbox"/> 7産婦人科 8産科 9婦人科 10眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 13放射線診断科 <input checked="" type="checkbox"/> 14放射線治療科 <input checked="" type="checkbox"/> 15麻酔科 <input checked="" type="checkbox"/> 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 <input checked="" type="checkbox"/> 1小児歯科 <input checked="" type="checkbox"/> 2矯正歯科 <input checked="" type="checkbox"/> 3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1心療内科 2肝胆膵内科 3腫瘍内科 4形成・美容外科 5リハビリテーション科 6病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
64床	床	床	床	763床	827床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	556人	142人	589.6人	看護補助者	19人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	179人	77人	185.2人	理学療法士	14人	臨床検査技師	65人
薬 剤 師	62人	1人	62.7人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助 産 師	31人	0人	31人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	818人	12人	827.3人	臨床工学士	21人	医療社会事業従事者	12人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	21人	4人	24人	歯 科 技 工 士	6人	事務職員	178人
管理栄養士	8人	0人	8人	診療放射線技師	43人	その他の職員	93人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	50人	眼科専門医	16人
外科専門医	36人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	20人
小児科専門医	29人	脳神経外科専門医	14人
皮膚科専門医	8人	整形外科専門医	22人
泌尿器科専門医	17人	麻酔科専門医	23人
産婦人科専門医	27人	救急科専門医	10人
		合 計	295人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (富田 善彦) 任命年月日 平成31年4月1日

平成29年4月1日から、適応外・禁忌等による医療の適否等を決定する新規医療技術等管理センターに設置される、高難度新規医療技術評価委員会、及び未承認新規医薬品等評価委員会の委員である。また、平成31年4月1日から、同委員会及び新規医療技術等管理センター長である。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	698.1人	23.0人	721.2人
1日当たり平均外来患者数	1694.4人	607.3人	2301.7人
1日当たり平均調剤数			3,059剤
必要医師数			173人
必要歯科医師数			34人
必要薬剤師数			39人
必要(准)看護師数			438人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	618m ²	鉄筋コンクリート	病床数	27床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数	48 m ² 台	病床数	3床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 [共用室の場合] 共用する室名	116 m ²				
化学検査室	403 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 臨床検査情報システム、搬送ライン一式、臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖・HbA1c分析装置、血液ガス分析装置、蛋白泳動装置、多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、尿中有形成成分分析装置、赤血球沈降速度測定装置、顕微鏡、試薬庫、純水製造装置、遠心機、検体保管庫、安全キャビネット、ドラフト			
細菌検査室	161 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 微生物分類同定分析装置、同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、顕微鏡、試薬庫、遠心機、検体保管庫、培養装置、安全キャビネット			
病理検査室	263 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR装置			
病理解剖室	221 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー			
研究室	755 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) パソコン等			
講義室	514 m ²	鉄筋コンクリート	室数	9室	収容定員	303人
図書室	99 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	5,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	80.5 %	逆紹介率	60.3 %
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,612 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,196 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,016 人
	D: 初診の患者の数		21,899 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
上村 朝輝	元済生会新潟第二病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
月岡 恵	元新潟市保健所長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
三部 正歳	りゅーと法律 税務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
田代 文俊	新潟大学 (監事)		医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2
牛木 辰男	新潟大学 (理事)		その他学識経験を有する者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	12	56	ペーチェット病	92
2	筋萎縮性側索硬化症	30	57	特発性拡張型心筋症	82
3	脊髄性筋萎縮症	5	58	肥大型心筋症	22
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	15	60	再生不良性貧血	40
6	パーキンソン病	79	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7	大脳皮質基底核変性症	12	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	45
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	10
11	重症筋無力症	165	66	IgA 腎症	28
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	32
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	132	68	黄色靱帯骨化症	9
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	21	69	後縦靱帯骨化症	87
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	11
16	クドウ・深瀬症候群	6	71	特発性大腿骨頭壊死症	125
17	多系統萎縮症	29	72	下垂体性ADH分泌異常症	8
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	51	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	11	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	4	75	クッシング病	7
21	ミトコンドリア病	8	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	74	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	33
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	117
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	12
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	11	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	135
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	19
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	35
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	20
34	神経線維腫症	48	89	リンパ管筋腫症	10
35	天疱瘡	29	90	網膜色素変性症	17
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	4
37	膿疱性乾癬(汎発型)	19	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	62
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	2
40	高安動脈炎	33	95	自己免疫性肝炎	16
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	121
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	260
43	顕微鏡的多発血管炎	35	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	32	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	5
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	8	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャヤー病	8	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	386	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	138	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	119	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	54	107	全身型若年性特発性関節炎	4
53	シェーグレン症候群	20	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	13	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	16
113	筋ジストロフィー	9	163	特発性後天性全身性無汗症	6
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	4
118	脊髄髄膜瘤	3	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表へモジデリン沈着症	2	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	4	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリソン症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	2
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マガニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	2
216	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	2	266	家族性地中海熱	3
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	19	270	慢性再発性多発性骨髄炎	3
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	20
224	紫斑病性腎炎	5	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	3	277	リンパ管腫症/ゴーム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	3
234	ベルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	3	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	3
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性降炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	6
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	32

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクロームスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	1	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	1	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算
・歯科外来診療環境体制加算	・データ提出加算
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算
・特定機能病院入院基本料	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・医師事務作業補助体制加算	・救命救急入院料
・急性期看護補助体制加算	・特定集中治療室管理料
・看護職員夜間配置加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・看護補助加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・療養環境加算	・小児入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・抗菌薬適正使用支援加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・後発医薬品使用体制加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・遺伝カウンセリング加算
・糖尿病合併症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料	・胎児心エコー法
・外来緩和ケア管理料	・ヘッドアップティルト試験
・移植後患者指導管理料	・皮下連続式グルコース測定
・糖尿病透析予防指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・神経学的検査
・外来放射線照射診療料	・補聴器適合検査
・ニコチン依存症管理料	・ロービジョン検査判断料
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	・コンタクトレンズ検査料
・がん治療連携計画策定料	・内服・点滴誘発試験
・肝炎インターフェロン治療計画料	・センチネルリンパ節生検(片側)
・薬剤管理指導料	・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査
・医療機器安全管理料1	・精密触覚機能検査
・医療機器安全管理料2	・画像診断管理加算1
・歯科治療時医療管理料	・画像診断管理加算2
・在宅患者歯科治療時医療管理料	・画像診断管理加算3
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・歯科画像診断管理加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影
・持続血糖測定器加算	・CT撮影及びMRI撮影
・遺伝学的検査	・冠動脈CT撮影加算
・骨髄微小残存病変量測定	・外傷全身CT加算
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・乳房MRI撮影加算
・検体検査管理加算(IV)	・小児鎮静下MRI撮影加算
・国際標準検査管理加算	・頭部MRI撮影加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・外来化学療法加算1	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・無菌製剤処理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・羊膜移植術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・がん患者リハビリテーション料	・網膜再建術
・リンパ浮腫複合的治療料	・人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・集団コミュニケーション療法料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・通院・在宅精神療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・認知療法・認知行動療法	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・医療保護入院等診療料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・硬膜外自家血注入	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・人工腎臓	・内視鏡下筋層切開術
・手術用顕微鏡加算	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔閉鎖術、胃腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・口腔粘膜処置	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・CAD/CAM冠	・経皮的僧帽弁クリップ術
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算	・経皮的中隔心筋焼灼術
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・補助人工心臓	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・骨格筋由来細胞シート心表面移植術	・歯根端切除手術の注3
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・レーザー機器加算の施設基準
・腹腔鏡下肝切除術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・生体部分肝移植術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・同種死体肝移植術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・外来放射線治療加算
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・高エネルギー放射線治療
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・同種死体腎移植術	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・生体腎移植術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・膀胱水圧拡張術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・病理診断管理加算
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・口腔病理診断管理加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・歯科矯正診断料
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・輸血管理料Ⅰ	・
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・実物大臓器立体モデルによる手術支援	・
・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	・
・食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	解剖例 CPC 2 回/年 生検例 20 回/年 心エコー検討会 8 回/年
剖 検 の 状 況	剖検症例数 28 例 / 剖検率 6.39 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
小児およびAYA世代の横紋筋肉腫およびユーイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	木下 義晶	小児外科	520,000	補 委	京都府公立大学法人
重要薬疹関連書類の作成、臨床試料収集と関連解析	阿部 理一郎	皮膚科	4,030,000	補 委	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団
「重症薬疹関連書類の作成、臨床試料収集と関連解析」に付随する研究	阿部 理一郎	皮膚科	2,400,000	補 委	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団
所定の培養物を用いた新規細胞療法の開発	金澤 雅人	脳神経内科	740,000	補 委	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築とAI活用診療支援システムの開発	阿部 理一郎	皮膚科	15,210,000	補 委	公益社団法人日本皮膚科学会
研究参加者のレジストリと臨床検査の実施	池内 健	脳神経内科	1,000,000	補 委	公立大学法人大阪市立大学
画像・バイオマーカー評価の標準化に向けての支援体制の確立	池内 健	脳神経内科	4,999,800	補 委	公立大学法人大阪市立大学
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	曾根 博仁	内分泌・代謝内科	300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
難治性リンパ管疾患レジストリを活用したリンパ管疾患鑑別診断法の確立及び最適治療戦略の導出	木下 義晶	小児外科	520,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
リンパ管疾患データベースの整備及び疾患関連試料基礎バンクの作成	木下 義晶	小児外科	225,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
剖検脳・罹患部位を用いたマルチオミックス解析による神経変性タウオパチーの病態解明と創薬標的の同定	池内 健	脳神経内科	31,200,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ポリグルタミン病に対する蛋白質凝集阻害薬の開発	小野寺 理	脳神経内科	56,090,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新規老化関連分子を標的とした糖尿病大血管合併症治療法の開発	南野 徹	循環器内科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
視野障害者・健常者運転データベース構築、視野障害者特有の事故要因の明確化	福地 健郎	眼科	2,357,000	補 委	国立研究開発法人理化学研究所
プリオンド蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の分子標的治療薬・バイオマーカーの開発	小野寺 理	脳神経内科	5,200,000	補 委	国立大学法人大阪大学
妊娠糖尿病女性における出産後の糖尿病・メタボリックシンドローム発症のリスク因子同定と予防介入に関する研究	曾根 博仁	内分泌・代謝内科	195,000	補 委	国立大学法人岡山大学
診療連携・国際連携をも視野にいた、生活習慣病、CKDの診療の質向上に直結する多施設長期コホート研究	成田 一衛	腎・膠原病内科	169,000	補 委	国立大学法人筑波大学
緑内障に関するデータ収集・解析案の作成	福地 健郎	眼科	956,124	補 委	国立大学法人筑波大学
次世代眼科医療を目指す、ICT/人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築	福地 健郎	眼科	390,000	補 委	国立大学法人筑波大学
ヒトB型肝炎を中心とした肝疾患患者検体の収集・分類と評価	寺井 崇二	消化器内科	9,100,000	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学
CD25中和抗体代替ペプチドのin vivoにおけるGVHD抑制効果	牛木 隆志	輸血・再生・細胞治療センター	1,300,000	補 委	国立大学法人東京工業大学

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委託元
多系統萎縮症の革新的治療法の創出を目指した研究	小野寺 理	脳神経内科	1,318,200	補 委	国立大学法人東京大学
シーズA92.非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の新たなバイオマーカーと標的治療の解明	南野 徹	循環器内科	827,200	補 委	国立大学法人東京大学
自己血由来フィブリンゲルを用いた歯根端切除術の先進医療導入に向けた臨床研究	野杵 由一郎	歯の診療科	600,000	補 委	国立大学法人東北大学
褐色脂肪-他臓器連関による老化制御メカニズムの解明	清水 逸平	循環器内科	19,500,000	補 委	国立大学法人東北大学
治験分担医師として治験の実施	石原 智彦	脳神経内科	1,140,001	補 委	国立大学法人徳島大学
「早期診断基準の作成のためのエビデンス構築」「遺伝性プリオン病の未発症の臨床調査と画像・生体材料の採取に基づく超早期診断基準にかかわる有効性の検証」	春日 健作	脳神経内科	1,040,000	補 委	国立大学法人長崎大学
骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法の評価と臨床展開	片桐 渉	口腔再建外科	1,500,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
細胞死誘導受容体アゴニストによる重症薬疹治療法開発	阿部 理一郎	皮膚科	2,525,300	補 委	国立大学法人北海道大学
全自動無菌細胞分離装置(ディスプレイ型)開発の為の製品評価・研究	寺井 崇二	消化器内科	2,600,000	補 委	千葉県中小企業団体中央会
新潟県における若年性認知症の有病率・生活実態把握	池内 健	脳神経内科	1,200,000	補 委	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
米の新規需要拡大のための輸出を目指した湿熱処理技術による保存性と生理的機能性の優れた玄米米粉開発	曾根 博仁	内分泌・代謝内科	19,700,000	補 委	独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校
多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立するDAA治療	赤澤 宏平	医療情報部	200,000	補 委	独立行政法人国立病院機構
肺胞蛋白症診療に直結するエビデンス創出研究:重症難治例の診断治療管理ガイドライン作成 GM-CSF吸入療法	田澤 立之	遺伝医療支援センター	200,000	補 委	独立行政法人国立病院機構
臨床情報・ゲノム情報の集積と検証による、診療に直結するエビデンス創出	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	325,000	補 委	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	榎本 隆之	産科婦人科	972,000	補 委	新潟県
神経難病患者に対する医療ネットワーク体制と療養支援体制の構築に関する研究	小野寺 理	脳神経内科	5,895,920	補 委	新潟県
メチル水銀中毒の神経細胞障害物質、および進行性核上性麻痺(PSP)との関連についての検討	金澤 雅人	脳神経内科	3,000,000	補 委	新潟県
エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究	高木 律男	顎顔面口腔外科	2,400,000	補 委	新潟県
水俣病、緑内障におけるヘッドマウント型視野計を用いた両眼開放視野に関する研究	福地 健郎	眼科	3,000,000	補 委	新潟県
①基礎研究:聴覚伝導路を用いた感覚代行システムによる平衡リハビリテーションの検討②臨床研究:前庭機能障害における各半規管の非侵襲的な機能的診断法の確立	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,000,000	補 委	新潟県
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	19,040,000	補 委	新潟県

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	200,000	補 委	新潟県
在宅高齢者口腔機能維持・向上研究事業	葎原 明弘	お口の健康室	871,000	補 委	新潟県
歯周病有病状況の把握方法に関する研究事業	葎原 明弘	お口の健康室	328,000	補 委	新潟県
次世代型の医療情報基盤システムの開発に関する研究	若井 俊文	消化器外科	4,300,000	補 委	新潟県病院局
摂食・嚥下障害者用介護用品・食品等の開発	井上 誠	口腔リハビリテーション科	387,000	補 委	にいがた摂食嚥下障害サポート研究会
地域保健における歯科疾患の予防	葎原 明弘	お口の健康室	800,000	補 委	弥彦村
安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究	南野 徹	循環器内科	54,000	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究ーダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討	成田 一衛	腎・膠原病内科	993,600	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
プレクリナルADに対するMRI,PET画像診断とバイオマーカー・遺伝子解析	池内 健	脳神経内科	2,800,000	補 委	公立大学法人大阪市立大学
新潟大学病院を中心とした多診療科によるIRUD拠点の構築	成田 一衛	腎・膠原病内科	5,200,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
重症薬疹における特異的細胞死誘導受容体をターゲットにした新規治療薬開発	阿部 理一郎	皮膚科	37,687,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
認知症臨床ゲノム情報データベース構築に関する開発研究	池内 健	脳神経内科	221,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
血液バイオマーカーを用いた認知症と精神・神経疾患の簡易識別診断システムの構築	池内 健	脳神経内科	10,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
進行性核上性麻痺と関連タウオパチーの患者レジストリと試科レボジトリを活用した診療エビデンスの構築	池内 健	脳神経内科	15,600,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
予防的治療法最適化するための早期アルツハイマー病診断法の確立	池内 健	脳神経内科	6,732,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
HPVワクチンの有効性の評価のための大規模疫学研究	榎本 隆之	産婦人科	67,475,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
“噛む”を測ることによるヘルスプロモーションシステムの開発に関する研究	小野 高裕	義歯診療科	38,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
TGF-βシグナルを標的としたCARASILの新規治療シーズの探索	小野寺 理	脳神経内科	23,920,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ゲノム編集を用いた優性遺伝子性中枢神経疾患の治療方法の開発	小野寺 理	脳神経内科	26,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究	齋藤 昭彦	小児科	2,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
メガリンを標的とした腎機能温存・再生療法の開発	齋藤 亮彦	小児科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肝硬変に対する間葉系肝細胞及びびびマイクロファイブ線維化改善機序のイメージングおよびエクソソーム解析による解明その応用	寺井 崇二	消化器内科	28,405,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
抗体関連型拒絶反応の動物モデルのメカニズム解析、核酸医療の遺伝子ターゲットの選定の検討及び腹膜播種細胞の収集のためのトランスレーショナル研究の実施	時田 大輔	臨床研究推進センター	8,326,500	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
自己免疫性肺胞蛋白症に対する酵母由来組換えGM-CSF吸入の多施設共同医師主導治験	中田 光	臨床研究推進センター	18,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	茂呂 寛	感染管理部	500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
咀嚼嚥下状態に応じた米加工食品の開発	井上 誠	口腔リハビリテーション科	22,000,000	補 委	新潟県, ホリカフーズ 株式会社, まつや株 式会社
平成30年度学術研究動向に関する研究(医歯薬学)	南野 徹	循環器内科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
インプラント検討症例の残存歯咬合力を用いたヒト生体骨梁モデルの3次元有限要素解析	Stegaroiu Roxana	お口の健康室	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
薬剤性腎障害の新規治療戦略:メガリンを標的とした予防・検査法の開発	青木 信将	救急科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
SiC繊維強化型歯科用高分子複合材料の開発	青柳 裕仁	冠・ブリッジ診療科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
脳放射線治療の個別最適化に向けた包括的研究	青山 英史	放射線治療科	3,250,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
サイトカインパネル解析を用いた自己免疫性肺胞蛋白症の病態変化機序の解明	赤坂 圭一	呼吸器・感染症内科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
大規模疫学調査に基づく中国の食道癌発症リスクの同定と発症低減策の費用対効果の分析	赤澤 宏平	医療情報部	2,600,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
臨床試験で競合リスクに相関がある場合の新たな治療効果判定方法の開発	赤澤 宏平	医療情報部	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
長期骨量維持を目指したプライミング細胞カクテル移植による多面的骨再生療法の開発	秋葉 奈美	冠・ブリッジ診療科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
規格化ナノ構造に接着する蛋白質が制御する細胞機能の解明	秋葉 陽介	冠・ブリッジ診療科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
大腸de novo癌の発生分子メカニズムの解明	味岡 洋一	病理部	2,470,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
子宮内膜症発症及び癌化におけるIL1Aの意義	安達 聡介	総合周産期母子医療センター	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
胃癌におけるアクチビン受容体変異による新規シグナル伝達機構の解明及び臨床的意義	油座 築	消化器外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
IDH変異型神経膠腫における2HGによるミトコンドリア機能異常と新規治療展開	阿部 英明	脳神経外科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
重症薬疹における特異的細胞死機序解明とバイオマーカー探索	阿部 理一郎	皮膚科	18,980,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
肝芽腫におけるmTOR細胞内シグナル発現機構の解明とラパマイシン治療法の開発	荒井 勇樹	小児外科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
グラスファイバー強化型レジンプロック削り出しダウエルコアを用いた支台築造法の開発	荒井 良明	顎関節治療部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心室細動の発症・再発に関わる解剖学的因子を標的とした新たな心室細動治療戦略の開発	飯嶋 賢一	循環器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ラット膵発癌モデルの開発による膵癌早期診断マーカーおよび新規治療法の確立	五十嵐 聡	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌ホルモン療法耐性機序における脂質メディエーター分子機構の解明および臨床的意義	五十嵐 麻由子	消化器外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顎関節滑膜組織内での疼痛伝達機序の解明-滑膜表層細胞と神経ペプチドに着目して-	池田 順行	顎顔面口腔外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
定量的画像解析に基づく小型肺腺癌のCT画像評価法の確立	石川 浩志	放射線診断科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
個別化医療における悪性腫瘍補助療法に対する費用対効果モデルの確立	石川 卓	医療情報部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期DNA損傷修復機構に基づく胆管生検試料における確証的な良悪性判定評価法の確立	石川 博補	高次救命災害治療センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特異的代謝メカニズムを標的とした婦人科悪性腫瘍がん幹細胞の新規治療法の探索	石黒 竜也	総合周産期母子医療センター	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者における非生理的咬耗の治療基準策定のための象牙質損耗量の測定と治療予後評価	石崎 裕子	歯科総合診療部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TDP-43選択的スプライシングによるALS病態機序とバイオマーカー利用の検討	石原 智彦	脳神経内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮体がんにおける蛍光法を併用した腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	磯部 真倫	産科婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
力学的刺激に誘導される歯根膜線維の成熟におけるSPARC-DDR2経路の機能解明	井田 貴子	冠・ブリッジ診療科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌のリンパ行性進展に関与する脂質メディエーター分子機構の解明および臨床的意義	市川 寛	消化器外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
成長関連タンパク43(GAP43)の神経発達障害への影響	井上 絵美子	精神科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
摂食運動に関わる咀嚼と嚥下の機能連関	井上 誠	口腔リハビリテーション科	4,810,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治がん克服を目指したNKp44-キメラ型受容体と新規NK細胞増幅法の開発	今井 千速	小児科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工培養骨:骨膜シートがもたらす骨再生現象の経時的解析	今井 秀明	インプラント治療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規膜結合型キメラサイトカインによるNK細胞増幅法の開発	今村 勝	小児科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳児突然死に関連したミトコンドリア呼吸鎖異常症の原因遺伝子PNPAL4の機能解明	入月 浩美	小児科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
房水産生のメカニズムにおけるアクアポリンの役割-緑内障治療剤の開発を目指して-	植木 智志	眼科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
バイオマテリアルの物理的操作による口腔粘膜のメカノバイオロジー研究基盤の創製	上野山 敦士	顎顔面口腔外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
培養骨膜シートの新規骨再生経路の分子基盤の解明	上松 晃也	インプラント治療部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内因性カンナビノイド(2-AG)が関わる鎮痛作用の解明	上村 藍太郎	矯正歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝臓特異的ハイドロダイナミック法による核酸医薬送達と肝癌遺伝子治療法への応用	上村 顕也	消化器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝内リンパ濾胞と肝星細胞活性化との排除の機序解明による組織線維化対策	上村 博輝	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
バーチャルリアリティーを活用した歯科技能教育の完全デジタル化	魚島 勝美	冠・ブリッジ診療科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
機械学習を用いた強度変調放射線治療の故障モード自動判別システムの開発	宇都宮 悟	放射線部	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
圧迫性頸髄症を対象とした3DAC法による脊髄神経路変性の評価と歩行機能の対比	浦川 貴朗	整形外科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自閉症リスク遺伝子ニューロリジン3のリン酸化部位の機能解析	江川 純	精神科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IGFBP-3による骨代謝制御機構の解明と新規骨増生法開発への応用	江口 香里	冠・ブリッジ診療科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
mTORシグナルを標的とした悪性グリオーマに対する新規化学療法の基盤構築	江田 岳誉	薬剤部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯髓myofibroblast様細胞の動態解明と新規歯髓保存療法への展開	枝並 直樹	歯の診療科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
進化論モデルを用いた単一起源細胞から子宮癌肉腫への発生機序解明と治療法の開発	榎本 隆之	産科婦人科	4,290,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨折ゼロ・寝たきりゼロをめざした高齢者脆弱性大腿骨近位部骨折の病態解明研究	遠藤 直人	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経組織活動の内因性蛍光反応を応用したヒト大脳皮質活動領域の術中可視法の確立	大石 誠	脳神経外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
介護保険施設の経口摂取・口腔衛生管理のトータルコスト・ベネフィットに関する研究	大内 章嗣	お口の健康室	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯髓創傷治癒におけるプロスタグランジンE2の役割: 輸送担体発現と受容体の機能解析	大倉 直人	歯の診療科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TRPV1に着目した矯正歯科治療時の疼痛メカニズムと歯槽骨吸収の解明	大倉 麻里子	矯正歯科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯胚移植を応用した歯根膜静的幹細胞の恒常性維持機構の解明	大島 邦子	小児歯科・障がい者歯科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージングを用いたマウス大脳皮質前庭領野同定とその可塑性の解析	大島 伸介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性呼吸不全に抗ミトコンドリア抗体の及ぼす影響～陽圧呼吸からの離脱を目指して～	大嶋 康義	呼吸器・感染症内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肺炎球菌の選択的除菌を目的としたアンチセンス療法の開発	大塚 岳人	小児科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マウス片側後肢血流遮断直後の中枢神経系の活動増強とNOの関連性の解明	大西 毅	麻酔科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
低酸素代謝リプログラミングを応用した培養口腔粘膜の品質向上	大貫 尚志	顎顔面口腔外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急速進行性間質性肺疾患に対するポリキシンB吸着カラム療法の作用機序の解明	大橋 和政	魚沼地域医療教育センター	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
二段階口蓋形成法における早期硬口蓋閉鎖の有用性: 音声言語と音響特性による言語成績	大湊 麗	言語治療室	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
安全な歯科治療のためのレオロジー-超音波で硬化を操る印象方法の開発-	大森 裕子	矯正歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫における神経成長関連タンパク質-43kDa(GAP-43)のリン酸化の解析	岡田 正康	脳神経外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
蛍光免疫組織化学を用いた胃pSM癌における簇出の生物学的悪性度評価及びその意義	岡村 拓磨	消化器外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
インプラント周囲炎の治療予後に影響を与える組織特異的幹細胞傷害の可能性を探る	奥田 一博	歯周病科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科臨床経験の差を科学する モーションキャプチャが明らかにする印象採得の勘所	奥村 暢旦	歯科総合診療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨軟部腫瘍に対する免疫治療の開発	生越 章	魚沼地域医療教育センター	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボロミクスを用いた心臓血管疾患における代謝リモデリングの解析	尾崎 和幸	循環器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
デノスマブによる心血管イベント抑制効果評価のための多施設共同研究	小澤 拓也	循環器内科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シヌクレインパチー患者における腸内細菌バイオマーカーの解析	小澤 鉄太郎	魚沼地域医療教育センター	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
web公開型電子ポートフォリオを中心とした歯科臨床実習コンピテンシーの実証	小田 陽平	口腔再建外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
加齢に伴う摂食関連機能と形態変化ならびにその関係	小野 和宏	お口の健康室	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クロザピン誘発性無顆粒球症・耐糖能異常のメカニズム解明と発現率低下についての検討	小野 信	精神科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔健康の悪化はメタボリックシンドロームのリスク因子となるか? -吹田研究	小野 高裕	義歯診療科	4,940,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
核酸代謝の乱れからみた蛋白質の老化基盤とその排除機構	小野寺 理	脳神経内科	20,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳小血管の動的機能に注目した脳血管性認知症克服への戦略	小野寺 理	脳神経内科	15,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯根膜組織幹細胞の運命経路と制御因子の解明	加来 賢	冠・ブリッジ診療科	6,240,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
進化論モデルを用いた内膜症から卵巣類内膜癌への進展メカニズムの解明	加嶋 克則	魚沼地域医療教育センター	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心拍変動時の左室収縮力変化とリバースリモデリングとの関係の検討	柏村 健	循環器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Aβ依存性の神経活動亢進によるアルツハイマー病の病態促進機序の解明	春日 健作	脳神経内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌DNA二重鎖損傷修復機構破綻の包括的評価と臨床的意義の解明	堅田 朋大	消化器外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元画像解析による脊柱靭帯骨化症の骨化進展:骨代謝動態を含めた包括的解析	勝見 敬一	魚沼地域医療教育センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
インプラント手術における口底部静脈のリスク評価と動脈走行の予測	勝見 祐二	顎顔面口腔外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重粒子線3次元線量分布への歯科用合金の影響解明と分布に影響しないマウスピース開発	勝良 剛詞	歯科放射線科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
体力測定結果を含む人間ドックデータと骨密度の横断的並びに縦断的関連の検討	加藤 公則	内分泌・代謝内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脳梗塞の機能回復を促進させる低酸素・低糖刺激末梢血単核球療法の検討	金澤 雅人	脳神経内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔がんにおける血液循環がん細胞の存在意義	金丸 祥平	口腔再建外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血管内皮増殖因子は末梢神経損傷後の神経再生に関与するか	金丸 博子	歯科麻酔科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎糸球体メサングウム細胞とIgA1の相互作用および関連分子による修飾機構	金子 佳賢	腎・膠原病内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大規模コホートによる慢性腎臓病の生活習慣リスク因子の解明	蒲澤 佳子	腎・膠原病内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性疼痛における脊髄・脳連関の生理学的解析およびグリア細胞活性化機構の解明	紙谷 義孝	麻酔科	6,110,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
潰瘍性大腸炎関連大腸癌における脂質メディエーターを介した新たな発癌機構の解明	亀山 仁史	消化器外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ステイロイド投与がNR3C1発現上昇無精子症の造精機能に与える影響	茅原 誠	産科婦人科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
7,8-ジヒドロキシフラボンのNASHにおける病態改善メカニズムの解明と治療応用	川合 弘一	消化器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
中枢神経系自己免疫疾患におけるマクロファージの動態と生物学的意義の解析	河内 泉	脳神経内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
革新的動体追跡放射線治療に向けたクリップマーカーの開発および臨床応用	川口 弦	魚沼地域医療教育センター	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
原発性骨腫瘍における骨破壊発生機序の解明	川島 寛之	整形外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顆粒球肉腫の臨床病理学的検討と髄外腫瘍形成に関わる分子生物学的背景の解明	河本 啓介	高密度無菌治療部	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
神経回路網アルゴリズムを用いた非結核性抗酸菌の統合的オミックス解析と病態予測	菊地 利明	呼吸器・感染症内科	5,850,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胚盤胞補完法を利用したマウス多能性幹細胞を用いた肺再生	北原 哲彦	呼吸器外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯根膜の部位特異的な組織応答を制御する新たなメカトランスダクション機構の解明	北見 公平	矯正歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ピエゾセンサーを用いた嚥下機能評価法と嚥下リハビリ地域連携システムの確立	木村 慎二	総合リハビリテーションセンター	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎組織中におけるアルツハイマー病原因分子のネットワーク解析	久保田 健彦	歯周病科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
家兎気管大欠損モデルにおける自然修復機構の組織生化学的解析と自然修復調節法の確立	窪田 正幸	小児外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カンボジアにおける妊産婦期からの口腔保健指導が乳歯う蝕予防に与える影響	久保田 悠	予防歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
下歯槽神経の神経障害性疼痛における神経虚血の関与-MRAとNIRSでの血流検索	倉田 行伸	歯科麻酔科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性痛成立過程の脳-脊髄可塑性変化:抑制性神経回路の役割の解明	倉部 美起	麻酔科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
A群レンサ球菌による小児咽頭炎重症化機構の分子解析	黒澤 美絵	小児歯科・障がい者歯科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
近位尿管におけるメガリンを介したリン代謝調節機構とリン関連腎障害機序の解明	桑原 頌治	腎・膠原病内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
酸化ストレスマーカーはドナー肺常温生体外還流中の肺機能評価マーカーとなり得るか	小池 輝元	心臓血管外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔内圧を指標とした上顎顎義歯の封鎖性評価	小飯塚 仁美	義歯診療科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
消化器外科手術後の包括的嚥下機能評価に関する研究	小杉 伸一	魚沼地域医療教育センター	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IgA腎症の発症に関与する共生細菌の網羅的解析	後藤 眞	腎・膠原病内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膝蓋細胞症様変化に着目した糖尿病に対する次世代細胞療法の創成	小林 隆	小児外科	4,940,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たな歯周炎・リウマチ関連機序の解明- NET誘導性カルバミル化ペプチドの関与-	小林 哲夫	歯科総合診療部	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ビタミンC不足に伴う骨質低下が進行性下顎頭骨吸収の発症に及ぼす影響と予防法の開発	小林 正治	口腔再建外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨密度を規定する候補遺伝子Mpp7の骨組織における役割の解明	近藤 直樹	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
異種動物間キメラを用いた多能性幹細胞による肺臓器創出	西條 康夫	腫瘍内科	7,930,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メガリンをターゲットとした慢性腎臓病および急性腎障害の診断・予防・治療法の開発	斎藤 亮彦	腎・膠原病内科	6,240,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒトパレコウイルス3型に対する有効な治療の検討	齋藤 昭彦	小児科	5,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ジェネレーティブデザインを応用した顎偏位形態予測と顎偏位軽減治療システムの確立	齋藤 功	矯正歯科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳歯歯髄細胞由来iPS細胞からのインスリン分泌β細胞の再生	齋藤 一誠	小児歯科・障がい者歯科	5,330,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄由来間葉系幹細胞の局所投与によるBRONJに対する新規治療法の効果検証	齋藤 太郎	顎顔面口腔外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
過剰歯から考える歯種決定のメカニズム	齋藤 陽子	小児歯科・障がい者歯科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
画像定量解析による永久歯および乳歯のミネラル密度ゴールドスタンダードの確立	坂井 幸子	歯科放射線科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顎変形症に対するVisual feedbackを応用した新規筋機能療法の開発	坂上 馨	矯正歯科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌発癌過程におけるオートファジーを介した分子制御機構の解明および臨床的意義	坂田 純	消化器外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糸球体腎炎・腎臓病の発症進展における銅含有酵素を介した酸化ストレスの影響	酒巻 裕一	腎・膠原病内科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規NASH発癌モデルの開発とその機序解析	坂牧 僚	消化器内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
一側性嗅覚検査によるアルツハイマー病早期診断法の確立	佐々木 崇暢	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オピオイド誘発性痛覚過敏での神経グリア連関におけるセロトニンの関与の解明	佐々木 美佳	麻酔科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
視神経脊髄炎関連疾患の病態機序へのエクソソームの関与	佐治 越爾	脳神経内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
虚血性不整脈の原因遺伝子同定による病態解明と新たな個別化治療の開発	佐藤 光希	循環器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食事介助における被介助者の視線と口腔運動から見た、最適食事介助法の提案	佐藤 直子	義歯診療科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
運動機能解析と組織病理解析の併用による消化管運動異常症の包括的病態解明	佐藤 裕樹	消化器内科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口の痛みと意欲低下の関連—動物実験系の確立とエピジェネティクス修飾の可能性—	佐藤 由美子	歯科麻酔科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
初期胚特異抗原SSEA-1が高未分化iPS細胞を特定するマーカーであることの証明	澤 味規	小児歯科・障がい者歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
結合組織乳頭構造をもつ培養口腔粘膜の開発と義歯装着インビトロ加齢モデルへの応用	塩見 晶	歯科総合診療部	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AML/MDSへの免疫チェックポイント阻害薬の応用に向けた腫瘍免疫評価法の確立	柴崎 康彦	血液内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
知的障害者向け口腔保健支援プログラムの開発	柴田 佐都子	お口の健康室	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
発癌の分子メカニズムの違いに着目した大腸癌TGF- β シグナル伝達経路の新たな分類	島田 能史	消化器外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
褐色脂肪由来物質を介した心筋代謝リモデリング機構の解明	清水 逸平	循環器内科	3,510,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
線維化促進分泌型タンパクを介した、非アルコール性脂肪性肝炎の新たな発症機序の解明	清水 逸平	循環器内科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胚盤胞補完法と多能性幹細胞を用いたマウス生体内における肺臓器再生技術の研究開発	周 ケイリョウ	腫瘍内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷回復期に重要なモノアミンの脊髄前角運動ニューロンに対する作用機序の解明	庄司 寛和	整形外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マルチチャンネルレコーディングシステムを利用した摂食嚥下機能時の大脳皮質活動記録	白石 成	口腔リハビリテーション科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
位相差X線CTと数値流体解析による小児肺静脈狭窄病変の病態解明	白石 修一	手術部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子編集した表皮水疱症患者由来iPS細胞を用いた多角的再生医療の開発	新熊 悟	皮膚科	5,720,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TDP-43量制御の脆弱性に着目した、核酸医薬によるALS治療戦略の検証	須貝 章弘	脳神経内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エネルギー代謝調節遺伝子UCPの歯周炎における役割の解明	杉田 典子	歯周病科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エピジェネティック修飾から見た慢性右心不全の重症度と可逆性の新たな指標	杉本 愛	心臓血管外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳磁図(MEG)による自閉スペクトラム症の反復常同性とその制御機構の解明	杉本 篤言	精神科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HPG・HPA系相互作用とホルモン補充療法反応性を用いた難治性精神疾患の病態解明	鈴木 雄太郎	精神科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規老化関連分子SAGPを標的とした老化細胞除去による加齢関連疾患治療法の開発	須田 将吉	循環器内科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
拡散強調画像成分抽出による三叉神経障害性疼痛の新たな評価法の開発	須田 有紀子	歯科麻酔科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アルコール摂取が歯周病に与える影響および他栄養素を含む包括的環境要因の解明	諏訪間 加奈	お口の健康室	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
β アラニンの脊髄後角における鎮痛作用機序の解明	清野 豊	麻酔科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヘッジホッグシグナル伝達系は末梢神経再生を誘導する	瀬尾 憲司	歯科麻酔科	4,030,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
BRCAを含む19遺伝子解析による卵巣癌個別化治療と発症ハイリスクグループの同定	関根 正幸	産科婦人科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
地域の全世代保健/医療ビッグデータの統合解析による健康寿命延伸エビデンスの創成	曾根 博仁	内分泌・代謝内科	5,070,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
p53遺伝子欠損コンソミックマウスを用いた口蓋裂発症メカニズム解析	高木 律男	顎顔面口腔外科	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
fNIRSを用いて口蓋裂言語を光脳機能学的に解析する	高木 律男	顎顔面口腔外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日中ブラキシズム是正指導としての行動変容法の効果を客観的に定量評価する	高嶋 真樹子	顎関節治療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
サイトカインパネル解析を用いた急速進行性間質性肺疾患の難治化機序の解明	高田 俊範	魚沼地域医療教育センター	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍関連マクロファージを介した肺癌の腫瘍微小環境形成機序の解明および臨床的意義	高野 可赴	消化器外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口唇閉鎖機能の定量化による新治療目標への臨床応用	高橋 功次朗	矯正歯科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道アカラシアにおける食道細菌叢同定とCAGE法を用いた食道発癌リスク解析	高橋 一也	消化器内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
喘息発症における上咽頭細菌叢の関与:16s rRNA解析を用いた網羅的検討	高橋 奈央	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌におけるBRCA1/2遺伝子変異解析およびタンパク質発現とその臨床的意義	滝沢 一泰	消化器外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CLL希少地域である日本からの挑戦～確実な鑑別診断法の確立と分子病態の解明～	瀧澤 淳	血液内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
デジタル実体顕微鏡蛍光イメージングによる食道癌3D微細血管診断法の確立	竹内 学	消化器内科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
矯正一呼吸器内科連携による閉塞性睡眠時無呼吸発症・重症化リスク予測システムの開発	竹山 雅規	矯正歯科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖鎖アレイを利用したABO不適合腎移植における抗体関連型拒絶反応予測検査法の開発	田崎 正行	泌尿器科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヨーグルトの抗菌-整腸作用に着目した術後難治性炎症病態に対する新規治療法の開拓	田島 陽介	光学医療診療部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重合体形成阻害を標的としたポリグルタミン病の新規治療法開発	他田 正義	脳神経内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
左室収縮能が保持された心不全患者におけるアディポネクチンの病態生理学的意義の解明	田中 孔明	循環器内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病的情動変容が惹起する口腔顔面領域心因性疼痛の行動生理学的解明	田中 裕	歯科麻酔科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
画像誘導放射線治療における患者被曝線量低減に向けた線量予測システムの開発	棚邊 哲史	放射線治療科	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
コメ由来ペプチド素材を用いた口腔ケアアプリケーションと歯周病ペプチド医薬の開発	多部田 康一	歯周病科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
卵巣成熟嚢胞性奇形腫の悪性転化症例における網羅的遺伝子異常、融合遺伝子の探索	田村 亮	産科婦人科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
再発膠芽腫の新規治療法:EUrd-CED法のラット脳幹部腫瘍モデルでの検討	塚本 佳広	脳神経外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌咽神経誘発嚥下を標的とした咀嚼嚥下メカニズム解明	辻 光順	摂食・嚥下機能回復部	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
口腔と咽頭をつなぐ三叉神経傍核が咀嚼嚥下に果たす役割	辻村 恭憲	口腔リハビリテーション科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌の浸潤・転移における癌間質液中スフィンゴシン-1-リン酸の役割と臨床的意義	土田 純子	消化器外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間葉系幹細胞の急性肝障害下の産生物質、エクソソームに着目した抗炎症療法の開発	土屋 淳紀	消化器内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
麻酔薬の脊髄前角細胞における作用機序の解明	出口 浩之	麻酔科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳-腸-肝ネットワークによる新規肝再生治療法の開発	寺井 崇二	消化器内科	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オリゴデンドログリアに着目した多系統萎縮症のバイオマーカーの探索	徳武 孝允	脳神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫プロファイリングによる免疫チェックポイント療法への感受性規定因子の同定	富田 善彦	泌尿器科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自然言語処理技術とディープラーニング手法を用いた有害事象検出方法の確立	鳥谷部 真一	医療安全管理部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
診療関連エラーに関する考え方およびその検出法の検討	鳥谷部 真一	医療安全管理部	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症誘導能の網羅的解析に基づく新たな肺炎球菌の病原因子の同定	永井 康介	顎関節治療部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
本邦における中枢性甲状腺機能低下症の診療状況および分子遺伝学的検討	長崎 啓祐	小児科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大動脈疾患における老化シグナルを介した血管リモデリング機構の解明	長澤 綾子	心臓血管外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腸内細菌叢の変動を介した歯周炎とNASHの関連メカニズムの解明	中島 麻由佳	歯周病科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎患者口腔細菌叢-腸内細菌叢連関を基盤とした全身疾患リスク因子の同定	中島 貴子	歯科総合診療部	4,940,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児期における捕食動作メカニズムの機能解析	中島 努	小児歯科・障がい者歯科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂質メディエーター産生酵素の隣癌微小環境形成における役割と臨床的意義	中島 真人	消化器外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌肝転移における抗酸化ストレス蛋白質発現の臨床的意義と抗癌剤耐性機序の解明	中野 麻恵	腫瘍センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SIPの癌代謝制御機構に着眼したトリプルネガティブ乳癌の病態と薬剤耐性機序の解明	永橋 昌幸	消化器外科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
光操作技術を用いた嚥下神経機構の解明	那小屋 公太	摂食・嚥下機能回復部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IDH変異型グリオーマにおける表面抗原を標的とした術中療法の開発	棗田 学	脳神経外科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たな凍結保存歯髄植法の開発-骨髄間葉系幹細胞培養上清を応用する-	新美 奏恵	口腔再建外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
バイオイメージングによる顎関節症治療の新たな地平:咬筋性状の高精度精査	新国 農	歯科放射線科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
妊娠高血圧症候群の発症予防を目的とした解毒酵素遺伝子と嗜好品摂取との相互作用解析	能仲 太郎	産科婦人科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
縦断研究による高齢者の唾液流量に関する回帰モデルの作成	濃野 要	予防歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シナモン成分による歯周病抑制効果の検討	野中 由香莉	歯周病科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内耳蝸牛におけるN-結合型糖鎖の網羅的解析と内リンパ液環境の制御メカニズムの解明	野々村 頼子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍特異的遺伝子異常による肺癌再発予測バイオマーカーの開発と補助化学療法の効果	橋本 毅久	魚沼地域医療教育センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体吸収性ハイドロゲルシートを用いた内視鏡的粘膜下層剝離術後食道狭窄予防法の開発	橋本 哲	消化器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アロマセラピーによるストレス誘発性咬筋痛改善の脳神経メカニズムの解明	長谷川 真奈	歯科総合診療部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼時の快・不快情動が生体反応に与える影響	長谷川 陽子	義歯診療科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
両側後根付き脊髄スライスを用いた高速画像解析法による神経障害性疼痛発生機序の解明	馬場 洋	麻酔科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白イメージングを用いたマウス大脳味覚野の機能解明	馬場 洋徳	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロテオーム解析による重症薬疹の早期診断バイオマーカーの検索	濱 菜摘	皮膚科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児の口唇閉鎖力を改善すると咀嚼運動は改善できる	早崎 治明	小児歯科・障がい者歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔内超音波診断法による口腔癌の浸潤深度評価の標準化	林 孝文	歯科放射線科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
インフルエンザ肺炎の早期診断法の確立とサイトカインパネルを用いた重症化機序の解明	林 正周	呼吸器・感染症内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージング法を用いたミクログリアの神経障害性疼痛への関与の解明	番場 景子	麻酔科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性髄膜腫における標的可能遺伝子変異の同定と新規治療確立	平石 哲也	脳神経外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌の脈管侵襲における脂質ヌディエーター分子機構の解明と臨床的意義	廣瀬 雄己	消化器外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌圧と顎顔面筋活動を指標とした開咬症の機能的診断法の確立	福井 忠雄	矯正歯科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
緑内障から生涯の視覚的QOLを守るための戦略	福地 健郎	眼科	3,640,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
7T-MRIを用いた「MRI陰性新皮質てんかん」の焦点可視化に関する学際的検討	藤井 幸彦	脳神経外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ケラチン関連蛋白5ファミリーの解析	藤川 大基	皮膚科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
常染色体優性遺伝性縮毛症および乏毛症の分子病態解明	藤本 篤	皮膚科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
分子情報を統合した医療ビッグデータと人工知能の融合による健康寿命延伸ツールの開発	藤原 和哉	内分泌・代謝内科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌圧測定と電磁アーティキュログラフを用いた包括的舌機能定量評価システムの構築	藤原 茂弘	義歯診療科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自発性異常味覚の診断に関わる5因子の検討	船山 さおり	口腔リハビリテーション科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ケタミンが脊髄伝導路および脊髄シナプス伝達に及ぼす作用に関する基礎および臨床研究	古谷 健太	魚沼地域医療教育センター	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症罹患二卵性双生児家系のエクソーム解析を起点としたリスク遺伝子の追究	保谷 智史	精神科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術前スクリーニングによる周術期呼吸リハビリ体制の確立	穂苅 諭	呼吸器・感染症内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
RGD配列に富む細胞高親和性リコンビナントペプチドからなる骨再生足場素材の開発	星名 秀行	インプラント治療部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥満・メタボリックシンドローム関連腎障害の病態にリンクした尿中メガリン排泄の意義	細島 康宏	腎・膠原病内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨軟部肉腫における血中循環腫瘍細胞の新規検出法による予後予測	堀田 哲夫	手術部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
老化シグナルによって制御される肺高血圧の病態解析	保屋野 真	循環器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
補綴治療がもたらす咀嚼行動変容—ウェアラブルデバイスを用いた食事モニタリング—	堀 一浩	義歯診療科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
持続性知覚性姿勢誘発めまい(PPPD)の病巣同定・動物モデルの確立と橋渡し研究	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己濃縮血小板の白血球分画がBMP徐放性と骨芽細胞分化に及ぼす影響	堀水 慎	歯周病科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔への温度刺激がもたらす嚥下機能の変化—感覚運動の統合機構の解明—	真柄 仁	摂食・嚥下機能回復部	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
蝸牛外側壁構成細胞の加齢性変化—連続切片走査型電子顕微鏡法による3次元解析—	正道 隆介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄グリコサミングリカン糖鎖異常が造血細胞移植後の造血分化とGVHDに与える影響	増子 正義	高密度無菌治療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顔面神経麻痺後の病的共同運動に対する新たな外科的治療法の開発	松田 健	形成・美容外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規機能性脂肪酸の上皮バリア機能強化による歯周病予防・治療法の確立	松田 由実	歯周病科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺扁平上皮癌におけるグルタミンを標的とする治療法の開発	松本 吉史	腫瘍内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
唾液腺腫瘍の低酸素応答性増殖機構を標的とした抗腫瘍治療法の創出	丸山 智	歯科病理検査室	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規抗精神病薬の胃排出能への影響の有無の解明	三上 剛明	精神科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症背景粘膜に着目した潰瘍性大腸炎関連腫瘍の発生に関する新規バイオマーカーの探索	水野 研一	消化器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ドロペリドールの脊髄における作用機序の解明	三ツ間 祐介	麻酔科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボリックシンドローム有病者における歯周病と認知症の関連	皆川 久美子	予防歯科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血管ニッチによって制御されるSTEMセルエイジングと加齢関連疾患発症機序の解明	南野 徹	循環器内科	22,750,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞内代謝を標的とした生活習慣病の診断・治療法の開発	南野 徹	循環器内科	5,720,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内因性老化細胞除去システムの分子機構の解明	南野 徹	循環器内科	5,070,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白自家蛍光反応を用いた新たな術中イメージングの確立	三橋 大樹	脳神経外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周病原細菌は腸管透過性亢進に与するか?	宮沢 春菜	歯周病科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳歯歯髄細胞由来iPS細胞からのLEF-1陽性幹細胞の単離	村上 智哉	小児歯科・障がい者歯科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
関節軟骨修復に寄与するマイクロRNAの探索	目良 恒	魚沼地域医療教育センター	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
加齢性難聴が認知機能障害に与える影響に関する研究	森田 由香	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヘパリン親和性エリスロポエチンの組織保護・再生効果の検討	森山 雅人	腫瘍内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症急性期において鉄調節因子ヘプシジンが果たす役割～新規治療法の開発に向けて	茂呂 寛	検査部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
スケーリング後菌血症に対する高齢者生体応答の解析と光治療による予防法の確立	両角 俊哉	歯周病科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症下肢虚血におけるメタボローム解析を用いた病態および治療マーカーの解明	柳川 貴央	循環器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
消化器発癌における免疫老化による免疫監視不全の関与の解明と新規先制医療の開発	山際 訓	消化器内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞死を起点とするがん進展機構:ダイニングコードの解明と標的化戦略	山崎 学	歯科病理検査室	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合オミクス解析に基づく口腸連関の解明ー歯周病をモデルとした関連解析ー	山崎 和久	お口の健康室	15,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多列面検出器型CTによる頭頸部癌化学放射線治療後の嚥下障害機序の解明	山崎 恵介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HIV感染者における抗ウイルス療法の有効度と副作用把握のための唾液検査の実用化	山田 瑛子	顎顔面口腔外科	1,170,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
マトリックス分解酵素(MMP13)を用いた肝硬変に対する抗線維化治療の開発	横尾 健	消化器内科	1,690,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ジペプチドリピート蛋白による核内小体の異常に着目した運動神経細胞死の解明	横関 明男	脳神経内科	1,560,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
小腸絨毛基底膜の「窓」の解析と小腸吸収評価システムの開発	横山 純二	光学医療診療部	1,040,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
象牙質・歯髄複合体の創傷治癒・再生過程における幹細胞の誘導と分化機構の解明	吉羽 邦彦	歯の診療科	3,380,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
α-SMA陽性に転化した細胞の動態から歯髄組織修復・再生メカニズムの解明に挑む	吉羽 永子	歯の診療科	1,430,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
歯周組織および口蓋扁桃の病態からみた慢性腎臓病に対する多角的発症メカニズムの解明	葎原 明弘	お口の健康室	6,240,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
融合遺伝子に注目した卵巣癌の病態解明と新しい治療戦略の構築	吉原 弘祐	産科婦人科	6,890,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
就労世代における歯周病罹患と全身疾患との関連解析および歯科保健プログラムの構築	米澤 大輔	お口の健康室	2,080,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
胆道疾患における脂質メディエーターと胆汁酸とによる新しい細胞情報伝達機構の解明	若井 俊文	消化器外科	910,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
集計表を用いた二次分析の実践と課題に関する研究	若杉 三奈子	腎・膠原病内科	1,430,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
末梢神経移行術後の神経回路再編および機能回復	若槻 華子	形成・美容外科	2,470,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
新生児蘇生記録システムの開発と応用	和田 雅樹	魚沼地域医療教育センター	1,170,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
関節リウマチの関節病変、骨粗鬆症および筋肉減弱症におけるミオスタチンの関与	和田 庸子	腎・膠原病内科	1,430,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷後の軸索再生におけるGAP-43の機能解明と新規脊髄保護療法の開発	渡邊 慶	整形外科	1,950,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
末梢複合刺激がもたらす嚥下機能変調効果	渡邊 賢礼	口腔リハビリテーション科	1,560,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージング法による神経ブロック後に生じる反跳痛の機序解明	渡部 達範	手術部	1,820,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
統合失調症発端者・両親のエクソーム解析に基づくリスク遺伝子確定と死後脳発現解析	渡部 雄一郎	魚沼地域医療教育センター	650,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
難治性腎障害に関する調査研究	成田 一衛	腎・膠原病内科	32,500,000	補委 厚生労働省

小計19件
計355件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Kayamori H, Shimizu I, Yoshida Y 他	循環器内科	Amlodipine Inhibits Vascular Cell Senescence and Protects Against Atherogenesis Through the Mechanism Independent of Calcium Channel Blockade	2018 May 30;59(3):607-613	Original Article
2	Katsuumi G, Shimizu I, Yoshida Y 他	循環器内科	Catecholamine-Induced Senescence of Endothelial Cells and Bone Marrow Cells Promotes Cardiac Dysfunction in Mice.	Int Heart J. 2018 Jul 31;59(4):837-844	Original Article
3	Ikegami R, Shimizu I, Sato T 他	循環器内科	Gamma-Aminobutyric Acid Signaling in Brown Adipose Tissue Promotes Systemic Metabolic Derangement in Obesity.	Cell Rep. 2018 Sep 11;24(11):2827-2837	Original Article
4	Furuuchi R, Shimizu I, Yoshida Y 他	循環器内科	Boysenberry polyphenol inhibits endothelial dysfunction and improves vascular health.	PLoS One. 2018 Aug 14;13(8):e0202051.	Original Article
5	Watanabe H, Minamino T.	循環器内科	Atrial Fibrillation in Patients with End-stage Kidney Disease on Dialysis.	Intern Med. 2018; 57: 2285-2286.	Original Article
6	Kayamori H, Kashimura T, Horii Y 他	循環器内科	Bidirectional Shunt Trajectory in Ventricular Septal Defect With Eisenmenger's Syndrome.	Circ J. 2018 Oct 25;82(11):2925-2926.	Case report
7	Ikegami R, Ozaki K, Ozawa T 他	循環器内科	Percutaneous Coronary Intervention for a Patient with Left Main Coronary Compression Syndrome.	Intern Med. 2018 May 15;57(10):1421-1424.	Case report
8	Sakaguchi Y, Ozaki K, Takano T 他	循環器内科	Dynamic Left Ventricular Outflow Tract Obstruction Complicated with Takotsubo Cardiomyopathy: The Acute Phase of Takotsubo Cardiomyopathy Manifests Latent Left	J Cardiol Cases. 2018 May 29;18(2):60-64.	Case report
9	Takano T, Tanaka K, Ozaki K 他	循環器内科	Clinical Predictors of Recurrent Ventricular Arrhythmias in Secondary Prevention Implantable Cardioverter-Defibrillator Recipients with Coronary Artery Disease: Lower Left	Circ J. 2018 Nov 24;82(12):3037-3043.	Original Article
10	Takano T, Ozaki K, Tanaka K 他	循環器内科	Efficacy of Corticosteroid Treatment for Refractory Multivessel Vasospastic Coronary Angina with Hypereosinophilia.	Intern Med. 2018 Nov 1;57(21):3111-3115.	Case report

小計10件

11	Shibasaki Y, Suwabe T, Katagiri T 他	内分泌・代謝 内科, 血液内 科	Refinement of the Glasgow Prognostic Score as a pre-transplant risk assessment for allogeneic hematopoietic cell transplantation.	Int J Hematol. 2018 Sep;108(3):282- 289	Original Article
12	Kobayashi H, Yoshimura N, Uemura S 他	内分泌・代謝 内科, 血液内 科	Heterogeneity of intrahepatic iron deposition in transfusion-dependent iron overload patients with hematological malignancies	Leuk Res. 2018 Jul;70:41-44	Letter
13	Kawamoto K, Miyoshi H, Suzuki T 他	内分泌・代謝 内科, 血液内 科	A distinct subtype of Epstein-Barr virus-positive T/NK-cell lymphoproliferative disorder: adult patients with chronic active Epstein-Barr virus infection-like features	Haematologica. 2018 Jun;103(6):1018- 1028	Original Article
14	Kodama S, Horikawa C, Fujihara K 他	内分泌・代謝 内科, 血液内 科	Relationship between intake of fruit separately from vegetables and triglycerides - A meta-analysis.	Clin Nutr ESPEN. 2018 Oct;27:53- 58	Original Article
15	Kobayashi M, Ohara N, Ikeda Y 他	内分泌・代謝 内科, 血液内 科	Glutamic Acid Decarboxylase Autoantibody-negative Slowly Progressive Type 1 Diabetes Mellitus: A Case Report and Literature Review	Intern Med. 2018 Dec 15;57(24):3581- 3587	Case report
16	Harada M, Fujihara K, Osawa T 他	内分泌・代謝 内科, 血液内 科	Association of treatment-achieved HbA1c with incidence of coronary artery disease and severe eye disease in diabetes patients	Diabetes Metab. 2018 Sep 10. pii: S1262- 3636(18)30167-8	Original Article
17	Tamura S, Kawamoto K, Miyoshi H	内分泌・代謝 内科, 血液内 科	Cladribine treatment for Erdheim-Chester disease involving the central nervous system and concomitant polycythemia vera: A case report	J Clin Exp Hematop. 2018 Dec 13;58(4):161-165	Case report
18	Minako Wakasugi, Junichiro James Kazama, Atsushi Wada 他	腎膠原病内科	Hip Fracture Trends in Japanese Dialysis Patients, 2008-2013	Am J Kidney Dis. 2018 Feb;71(2):173- 181.	Original Article
19	Suguru Yamamoto, Mami Sato, Yoko Sato 他	腎膠原病内科	Adsorption of Protein-Bound Uremic Toxins Through Direct Hemoperfusion With Hexadecyl-Immobilized Cellulose Beads in Patients Undergoing Hemodialysis	Artif Organs. 2018 Jan;42(1):88-93.	Original Article
20	Yoko Wada, Hisashi Hasegawa, Takako Saeki 他	腎膠原病内科	Long-term prognosis and factors associated with damage accrual in Japanese patients with systemic lupus erythematosus	Clin Exp Nephrol. 2018 Jun;22(3):597- 602.	Original Article
21	Minako Wakasugi, Junichiro James Kazama, Ichiei Narita	腎膠原病内科	Self-reported Slower Eating Is Associated with a Lower Salt Intake: A Population-based Cross-sectional Study	Intern Med. 2018 Jun 1;57(11):1561- 1567.	Original Article
22	Eriko Hasegawa, Satoshi Ito, Chinatsu Takai 他	腎膠原病内科	The Efficacy of Minodronate in the Treatment of Glucocorticoid-induced Osteoporosi	Intern Med. 2018 Aug 1;57(15):2169- 2178.	Original Article
23	Hiroki Maruyama, Atsumi Taguchi, Yuji Nishikawa 他	腎膠原病内科	Medullary thick ascending limb impairment in the GlatmTg(CAG-A4GALT) Fabry model mice	FASEB J. 2018 Aug;32(8):4544- 4559.	Original Article

小計13件

24	Yoshikatsu Kaneko, Takamasa Cho, Yuya Sato 他	腎膠原病内科	Attenuated Macrophage Infiltration in Glomeruli of Aged Mice Resulting in Ameliorated Kidney Injury in Nephrotoxic Serum Nephritis	J Gerontol A Biol Sci Med Sci. 2018 Aug 10;73(9):1178-1186.	Original Article
25	Daisuke Kobayashi, Satoshi Ito, Chinatsu Takai 他	腎膠原病内科	Efficacy and safety of infliximab: A comparison with other biological disease-modifying anti-rheumatic drugs	Mod Rheumatol. 2018 Jul;28(4):599-605.	Original Article
26	Yukiko Nozawa, Hiroe Sato, Ayako Wakamatsu 他	腎膠原病内科	Utility of estimated glomerular filtration rate using cystatin C and its interpretation in patients with rheumatoid arthritis under glucocorticoid therapy	Clin Chim Acta. 2018 Dec;487:299-305.	Original Article
27	Suguru Yamamoto, Angelo Karaboyas, Hiroataka Komaba 他	腎膠原病内科	Mineral and bone disorder management in hemodialysis patients: comparing PTH control practices in Japan with Europe and North America: the Dialysis Outcomes and Practice	BMC Nephrol. 2018 Oct 5;19(1):253.	Original Article
28	Ryo Koda, Ryo Itoh, Masafumi Tsuchida 他	腎膠原病内科	Legionella Pneumonia Complicated with Acquired Fanconi Syndrome	Intern Med. 2018 Oct 15;57(20):2975-2980.	Case report
29	Hiroki Maruyama, Kaori Miyata, Mariko Mikame 他	腎膠原病内科	Effectiveness of plasma lyso-Gb3 as a biomarker for selecting high-risk patients with Fabry disease from multispecialty clinics for genetic analysis	Genet Med. 2019 Jan;21(1):44-52.	Original Article
30	Hiroki Yamaguchi, Hisaki Shimada, Kazuhiro Yoshita 他	腎膠原病内科	Severe hypermagnesemia induced by magnesium oxide ingestion: a case series	CEN Case Rep. 2019 Feb;8(1):31-37.	Case report
31	Suguru Yamamoto	腎膠原病内科	Molecular mechanisms underlying uremic toxin-related systemic disorders in chronic kidney disease: focused on β 2-microglobulin-related amyloidosis and indoxyl sulfate-induced atherosclerosis-Oshima Award Address 2016	Clin Exp Nephrol. 2019 Feb;23(2):151-157.	Review
32	Masanori Sudo, Takuya Wakamatsu, Tomomi Ishikawa 他	腎膠原病内科	Successful treatment of gamma 1 heavy chain deposition disease with bortezomib and dexamethasone	Human Pathology 15: 99-104, 2019	Case report
33	Ryo Koda, Masafumi Tsuchida, Noriaki Iino 他	腎膠原病内科	Hypophosphatemic Osteomalacia Associated with Adefovir-induced Fanconi Syndrome Initially Diagnosed as Diabetic Kidney Disease and Vitamin D Deficiency	Intern Med. 2019 Mar 15;58(6):821-825.	Case report
34	Aoki A, Sakagami T, Yoshizawa K, Shima K 他	呼吸器・感染症内科, 心療内科	Clinical significance of interferon- γ neutralizing autoantibodies against disseminated nontuberculous mycobacterial disease.	Clinical Infectious Diseases. 2018 Apr;66·8:1239-1245	Original Article
35	Toshinori Takada, Kazumasa Ohashi, Masachika Hayashi 他	呼吸器・感染症内科, 心療内科	Role of IL-15 in interstitial lung diseases in amyopathic dermatomyositis with anti-MDA-5 antibody	Respiratory Medicine. 2018 Aug;141:7-13	Original Article
36	Watanabe S, Yamaguchi OU, Masumoto AI 他	呼吸器・感染症内科, 心療内科	Phase I Study Evaluating the Combination of Afatinib with Carboplatin and Pemetrexed After First-line EGFR-TKIs	Anticancer research. 2018 Aug;38·8:4699-4704	Original Article

小計13件

37	Nagahashi M, Sato S, Yuza K 他	呼吸器・感染症 内科, 心療内科	Common driver mutations and smoking history affect tumor mutation burden in lung adenocarcinoma	J Surg Res. 2018 Oct;180:181-185	Original Article
38	Yuuki Bamba, Hiroshi Moro, Nobumasa Aoki 他	呼吸器・感染症 内科, 心療内科	Increased presepsin levels are associated with the severity of fungal bloodstream infections	PLoS One. 2018 Oct;13 10:e0206089	Original Article
39	Yuuki Bamba, Hiroshi Moro, Nobumasa Aoki 他	呼吸器・感染症 内科, 心療内科	Multiplex cytokine analysis in Mycobacterium avium complex lung disease: relationship between CXCL10 and poor prognostic factors	BMC Infectious Diseases. 2019 Mar;19:263	Original Article
40	Nobutaka Kitamura, Shinya Ohkouchi, Ryushi Tazawa 他	呼吸器・感染症 内科, 心療内科	Incidence of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis estimated using Poisson distribution	ERJ Open Res. 2019 Mar;5:00190- 2018	Original Article
41	Watanabe S, Yoshioka H, Sakai H 他	呼吸器・感染症 内科, 心療内科	Necitumumab plus gemcitabine and cisplatin versus gemcitabine and cisplatin alone as first-line treatment for stage IV squamous non-small cell lung cancer: A phase 1b and randomized, open-label, multicenter, phase 2 trial in Japan.	Lung Cancer. 2019 Mar;129:55- 62	Original Article
42	Tominaga K, Kamimura K, Takahashi K 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Diversion colitis and pouchitis: A mini-review.	World J Gastroenterol. 2018 Apr 28;24(16):1734- 1747.	Review
43	Kamimura K, Inoue R, Nagoya T 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Autonomic nervous system network and liver regeneration.	World J Gastroenterol. 2018 Apr 21;24(15):1616- 1621.	Review
44	Sato H, Takahashi K, Mizuno KI 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Esophageal motility disorders: new perspectives from high-resolution manometry and histopathology.	J Gastroenterol. 2018 Apr;53(4):484- 493.	Review
45	Sato H, Takahashi K, Mizuno KI 他	消化器内科・肝 胆膵内科	A clinical study of peroral endoscopic myotomy reveals that impaired lower esophageal sphincter relaxation in achalasia is not only defined by high-resolution manometry.	PLoS One. 2018 Apr 2;13(4):e0195423.	Original Article
46	Kamimura K, Shinagawa- Kobayashi Y, Goto R 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Effective prevention of sorafenib-induced hand-foot syndrome by dried-bonito broth.	Cancer Manag Res. 2018 Apr 17;10:805-813.	Original Article
47	Tominaga K, Kamimura K, Takahashi K 他	消化器内科・肝 胆膵内科	A case of Behçet's disease with various gastrointestinal findings.	Clin J Gastroenterol. 2018 Oct;11(5):354- 358.	Case report
48	Morita S, Kamimura K, Suda T 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided transmural drainage for subphrenic abscess: report of two cases and a literature review.	BMC Gastroenterol. 2018 Apr 27;18(1):55.	Case report
49	Kamimura H, Ishikawa T, Ishihara N 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Specific Gastric Blood Vessels in Sinistral Portal Hypertension.	Intern Med. 2018 Apr 1;57(7):1053- 1054.	Case report

小計13件

50	Hayashi K, Tsuchiya A, Ikarashi S 他	消化器内科・肝 胆膵内科	A Case of Pancreatic Schwannoma Diagnosed Preoperatively by Endoscopic Ultrasonography-Guided Fine Needle Aspiration and Treated with Laparoscopic Surgery.	J Pancreat Cancer. 2018 May 1;4(1):7-10.	Case report
51	Kamimura H, Setsu T, Kimura N 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Renal impairment in chronic hepatitis B: A review.	Diseases. 2018 Jun 19;6(2). pii: E52.	Review
52	Setsu T, Yamagiwa S, Tominaga K 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Persistent reduction of mucosal-associated invariant T cells in primary biliary cholangitis.	J Gastroenterol Hepatol. 2018 Jun;33(6):1286- 1294.	Original Article
53	Kobayashi T, Kawai H, Nakano O 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Prognostic value of subcutaneous adipose tissue volume in hepatocellular carcinoma treated with transcatheter intra-arterial therapy.	Cancer Manag Res. 2018 Jul 25;10:2231-2239.	Original Article
54	Takahashi K, Hashimoto S, Mizuno KI 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Management decision based on lymphovascular involvement leads to favorable outcomes after endoscopic treatment of esophageal squamous cell carcinoma.	Endoscopy. 2018 Jul;50(7):662- 670.	Original Article
55	Kobayashi T, Kawai H, Nakano O 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Rapidly declining skeletal muscle mass predicts poor prognosis of hepatocellular carcinoma treated with transcatheter intra-arterial therapies.	BMC Cancer. 2018 Jul 24;18(1):756.	Original Article
56	Tsuchiya A, Ogawa M, Watanabe Y 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Successful treatment of aortic dissection during sorafenib therapy for hepatocellular carcinoma.	Clin Case Rep. 2018 Jul 1;6(8):1643-1644.	Case report
57	Ogawa K, Kamimura K, Terai S.	消化器内科・肝 胆膵内科	Anti-programmed cell death-1 immunotherapy-related secondary sclerosing cholangitis.	Hepatology. 2019 Feb;69(2):914- 916.	Letter
58	Ko M, Kamimura K, Ogawa K 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Diagnosis and management of fibromuscular dysplasia and segmental arterial mediolysis in gastroenterology field: A mini-review.	World J Gastroenterol. 2018 Aug 28;24(32):3637- 3649.	Review
59	Watanabe Y, Takahashi K, Yokoyama J 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Gastric Cavernous Hemangioma Resected by Endoscopic Submucosal Dissection.	Intern Med. 2018 Aug 1;57(15):2269- 2270.	Case report
60	Sato H, Terai S.	消化器内科・肝 胆膵内科	Eosinophilic Esophageal Myositis (EoEM) Causes Jackhammer Esophagus, Rarely Posing a Problem in the Differential Diagnosis of Eosinophilic Esophagitis.	Am J Gastroenterol. 2018 Aug;113(8):1263- 1264.	Letter
61	Tominaga K, Tsuchiya A, Terai S.	消化器内科・肝 胆膵内科	A first ileus event in an elderly man with malrotation.	Gastroenterology. 2019 Feb;156(3):e9- e11.	Letter
62	Tsuchiya A, Terai S.	消化器内科・肝 胆膵内科	Listeria Meningitis during Infliximab-based Treatment for Ulcerative Colitis.	Intern Med. 2018 Sep 1;57(17):2603.	Letter

小計13件

63	Kamimura K, Yokoo T, Terai S.	消化器内科・肝 胆膵内科	Gene Therapy for Pancreatic Diseases: Current Status.	Int J Mol Sci. 2018 Oct 31;19(11).	Review
64	Sato H, Honma T, Nozawa Y, Owaki T 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Eosinophilic esophagitis in Japanese patients: A mild and slow-progressing disorder.	PLoS One. 2018 Nov 2;13(11):e020662 1.	Original Article
65	Watanabe Y, Tsuchiya A, Seino S 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Mesenchymal Stem Cells and Induced Bone Marrow-Derived Macrophages Synergistically Improve Liver Fibrosis in Mice.	Stem Cells Transl Med. 2019 Mar;8(3):271- 284.	Original Article
66	Takahashi K, Sato H, Tominaga K 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Gastrointestinal: A case of hypereosinophilic syndrome with esophageal involvement.	J Gastroenterol Hepatol. 2018 Nov;33(11):1817.	Letter
67	Yagi K, Nagayama I, Hoshi T 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Green epithelium revealed by narrow-band imaging (NBI): a feature for practical assessment of extent of gastric cancer after H. pylori eradication.	Endosc Int Open. 2018 Nov;6(11):E1289- E1295.	Case report
68	Suda T, Kanefuji T, Abe A 他	消化器内科・肝 胆膵内科	A cut-off value of shear wave speed to distinguish nonalcoholic steatohepatitis candidates.	Medicine (Baltimore). 2019 Jan;98(2):e13958.	Original Article
69	Sato H, Honma T, Owaki T 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Clinical and pathological profile of eosinophilic gastroenteritis.	Eur J Gastroenterol. Hepatol. 2019 Feb;31(2):157- 162.	Original Article
70	Kimura N, Tsuchiya A, Ogawa M 他	消化器内科・肝 胆膵内科	A case of inferior vena cava thrombosis caused by compression due to growing giant liver cyst.	Clin J Gastroenterol. 2019 Feb;12(1):71-75.	Case report
71	Tominaga K, Tsuchiya A, Kawata Y 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Novel Magnified Single-Balloon Enteroscopy Enables Observation of Jejunal White Spots Associated with Lymphangiectasia.	Dig Dis. 2019;37(2):170- 174.	Case report
72	Morita S, Suda T, Oda C 他	消化器内科・肝 胆膵内科	The Value of 18F-FDG PET in the Diagnosis of Intertrabecular Vertebral Metastasis in a Small Cell Lung Cancer Patient with a High Serum CEA Level.	tern Med. 2019 Feb 1;58(3):415- 418.	Case report
73	Sato H, Takeuchi M, Terai S.	消化器内科・肝 胆膵内科	Gastrointestinal: Endoscopic diverticulectomy for the treatment of Zenker's diverticulum with a unique "tip": A first case report in Japan.	J Gastroenterol Hepatol. 2019 Feb 4.	Case report
74	Ikarashi S, Tsuchiya A, Hayashi K 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Delayed pancreatic ductal leakage after EUS-FNA for autoimmune pancreatitis.	Endosc Ultrasound. 2019 Feb 4.	Case report
75	Tominaga K, Tsuchiya A, Sato H 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Co-existent ulcerative colitis and Guillain- Barré syndrome: a case report and literature review.	Clin J Gastroenterol. 2019 Feb 18.	Case report

小計13件

76	Tominaga K, Kamimura K, Yokoyama J 他	消化器内科・肝 胆膵内科	Usefulness of Capsule Endoscopy and Double-balloon Enteroscopy for the Diagnosis of Multiple Carcinoid Tumors in the Small Intestine: Case Reports and a Literature Review.	Intern Med. 2019 Mar 1;58(5):655-659.	Case report
77	Mizusawa T, Kobayashi M, Terai S.	消化器内科・肝 胆膵内科	Radial incision and cutting for refractory benign esophageal stricture.	Dig Endosc. 2019 Mar;31(2):e46- e47.	Case report
78	Tsuchiya A, Terai S.	消化器内科・肝 胆膵内科	Long-Term Culture of Mouse Fetal Hepatic Stem/Progenitor Cells.	Methods Mol Biol. 2019;1905:3-8.	Review
79	Mezaki N, Miura T, Ogaki K 他	脳神経内科	Duplication and deletion upstream of LMNB1 in autosomal dominant adult-onset leukodystrophy	Neurol Genet. 2018 Dec 7;4(6):e292.	Case report
80	Hatakeyama M, Sato T, Takahashi T 他	脳神経内科	Predictors of cognitive impairment in multiple system atrophy	J Neurol Sci. 2018 May ;388:128- 132	Original Article
81	Konno T, Miura T, Harriott AM 他	脳神経内科	Partial loss of function of colony- stimulating factor 1 receptor in a patient with white matter abnormalities.	Eur J Neurol. 2018 Jun;25· 6:875-881	Original Article
82	Kanazawa M, Takahashi T, Ishikawa M 他	脳神経内科	Angiogenesis in the ischemic core: A potential treatment target?	J Cereb Blood Flow Metab. 2019 Mar 6(オンライン)	Review
83	Matsumoto Y, Zhou Q, Kamimura K 他	腫瘍内科	The Prognostic Nutrition Index Predicts the Development of Hematological Toxicities in and the Prognosis of Esophageal Cancer Patients Treated with Cisplatin Plus 5-Fluorouracil Chemotherapy.	Nutr Cancer. 2018 Apr;70(3):447- 452	Original Article
84	Zhou Q, Ye X, Ran Q, Kitahara A 他	腫瘍内科	Trachea Engineering Using a Centrifugation Method and Mouse-Induced Pluripotent Stem Cells.	Tissue Eng Part C Methods. 2018 Sep;24(9):524- 533	Original Article
85	Ono S, Sugai T, Suzuki Y 他	精神科	High-density lipoprotein-cholesterol and antipsychotic medication in overweight inpatients with schizophrenia: Post hoc analysis of a Japanese nationwide survey	BMC Psychiatry. 2018 Jun;18(1):180	Original Article
86	Tajiri M, Suzuki Y, Sugai T 他	精神科	Effects of olanzapine on resting heart rate in Japanese patients with schizophrenia	PLoS One. 2018 Jul 17;13(7):e019992 2.	Original Article
87	Hoya S, Watanabe Y, Shibuya M 他	精神科	Updated meta-analysis of CMYA5 rs3828611 and rs4704591 with schizophrenia in Asian populations	Early Interv Psychiatry. 2018 Oct;12(5):938- 941	Original Article
88	Yukawa T, Iwakura Y, Takei N 他	精神科	Pathological alterations of chondroitin sulfate moiety in postmortem hippocampus of patients with schizophrenia	Psychiatry Res. 2018 Dec;270:940-946	Original Article

小計13件

89	Wakai T, Sakata J, Katada T 他	消化器外科	Surgical management of carcinoma in situ at ductal resection margins in patients with extrahepatic cholangiocarcinoma	Ann Gastroenterol Surg. 2018 Jul 26;2(5):359-366	Original Article
90	Kobayashi T, Miura K, Ishikawa H 他	消化器外科	Long-term Follow-up of Laparoscope-Assisted Living Donor Hepatectomy	Transplant Proc. 2018 Nov;50(9):2597-2600	Original Article
91	Kameyama H, Nagahashi M, Shimada Y 他	消化器外科	Genomic characterization of colitis-associated colorectal cancer	World J Surg Oncol. 2018 Jul 2;16(1):121.	Original Article
92	Kameyama H, Hashimoto Y, Shimada Y 他	消化器外科	Small bowel obstruction after ileal pouch-anal anastomosis with a loop ileostomy in patients with ulcerative colitis	Ann Coloproctol. 2018 Apr;34(2):94-100	Original Article
93	Sakata J, Ebata T, Wakai T	消化器外科	Evolution of radical resection for perihilar cholangiocarcinoma	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2018 Apr;25(4):249-251	Others
94	Shimada Y, Tajima Y, Nagahashi M 他	消化器外科	Clinical Significance of BRAF Non-V600E Mutations in Colorectal Cancer: A Retrospective Study of Two Institutions	J Surg Res. 2018 Dec;232:72-81	Original Article
95	Nagahashi M, Yamada A, Katsuta E 他	消化器外科	Targeting the SphK1/S1P/S1PR1 Axis That Links Obesity, Chronic Inflammation, and Breast Cancer Metastasis	Cancer Res. 2018 Apr 1;78(7):1713-1725	Original Article
96	Nagahashi M, Abe M, Sakimura K 他	消化器外科	The role of sphingosine-1-phosphate in inflammation and cancer progression	Cancer Sci. 2018 Dec;109(12):3671-3678	Original Article
97	Hanyu T, Nagahashi M, Ichikawa H 他	消化器外科	Expression of phosphorylated sphingosine kinase 1 is associated with diffuse type and lymphatic invasion in human gastric cancer	Surgery. 2018 Jun;163(6):1301-1306	Original Article
98	Kosugi SI, Ichikawa H, Sato Y 他	消化器外科	Unusual lymph node metastasis from cancer of the thoracic esophagus	J Surg Case Rep. 2018 Aug 14;2018(8):rjy214(オンライン)	Case report
99	Miura K, Sugawara Y, Uchida K 他	消化器外科	Adult Living Donor Liver Transplantation for Patients With Portal Vein Thrombosis: A Single-center Experience	Transplant Direct. 2018 Apr 13;4(5):e341(オンライン)	Original Article
100	Hirose Y, Nagahashi M, Katsuta E 他	消化器外科	Generation of sphingosine-1-phosphate is enhanced in biliary tract cancer patients and is associated with lymphatic metastasis	Sci Rep. 2018 Jul 17;8(1):10814.	Original Article
101	Hirose Y, Sakata J, Endo K 他	消化器外科	A 0.8-cm clear cell neuroendocrine tumor G1 of the gallbladder with lymph node metastasis: a case report	World J Surg Oncol. 2018 Jul 23;16(1):150(オンライン)	Case report

小計13件

102	Saitoh A, Okabe N.	小児科	Further Progress and Future Challenges Regarding the Japanese Immunization Program: Beyond the "Vaccine Gap".	Vaccine. 2018 July;36:4582-4588.	Review
103	Ozawa J, Ohno S, Fujii Y 他	小児科	Differential Diagnosis Between Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia and Long QT Syndrome Type 1 - Modified Schwartz Score	Circ J. 2018 Aug;82(9):2269-2276	Original Article
104	Sato S, Nakamura A, Shimizu Y 他	心臓血管外科・呼吸器外科	Early and mid-term outcomes of simultaneous thoracic endovascular stent grafting and combined resection of thoracic malignancies and the aortic wall.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2019 Feb;67(2):227-233.	Original Article
105	Koike T, Koike T, Nakamura M 他	心臓血管外科・呼吸器外科	Strategy of intentional limited resection for lung adenocarcinoma in situ.	J Thorac Dis. 2018 Jun;10(Suppl 17):S2018-S2021.	Original Article
106	Shuichi Shiraishi, Toshihide Nakano, Shin-ichiro Oda 他	心臓血管外科・呼吸器外科	Impact of age at bidirectional cavopulmonary anastomosis on haemodynamics after Fontan operation.	Cardiol Young. 2018 Dec;28(12):1436-1443	Original Article
107	Seiji sato, Yuki Shimizu, Tatsuya Goto 他	心臓血管外科・呼吸器外科	Survival after repeated surgery for lung cancer with idiopathic pulmonary fibrosis: a retrospective study.	BMC Pulm Med. 2018 Aug 10;18(1)	Original Article
108	Fujita Y, Kawashima H, Ariizumi T 他	整形外科	Successful resuscitation from cardiac arrest due to histologically revealed tumor embolism following bilateral intramedullary nailing of metastatic femoral lesions.	J Orthop Sci. 2018 Oct 4. pii: S0949-2658(18)30256-2.	Original Article
109	Oike N, Kawashima H, Ogose A 他	整形外科	Prognostic impact of the tumor immune microenvironment in synovial sarcoma.	Cancer Sci. 2018 Oct;109(10):3043-3054.	Original Article
110	Katsumi K, Watanabe K, Izumi T 他	整形外科	Natural history of the ossification of cervical posterior longitudinal ligament : a three dimensional analysis	Int Orthop. 2018 Apr;42(4):835-842	Original Article
111	Ohashi M, Hirano T, Watanabe K 他	整形外科	Bone mineral density after spinal fusion surgery for adolescent idiopathic scoliosis at a minimum 20-year follow-up.	Spine Deform. 2018 Mar - Apr;6(2):170-176	Others
112	Mochizuki T, Sato T, Tanifuji O 他	整形外科	Extrinsic Factors as Component Positions to Bone and Intrinsic Factors Affecting Postoperative Rotational Limb Alignment in Total Knee Arthroplasty.	J Arthroplasty. 2018 Jul;33(7):2100-2110	Original Article
113	Imai N, Miyasaka D, Suzuki H 他	整形外科	The anteroposterior axis of the tibia is adjusted to approximately a right angle to the anterior pelvic plane in the standing position in patients with hip dysplasia similar to normal subjects: a cross-sectional study.	J Orthop Surg Res. 2018 May 2;13(1):105	Original Article
114	Imai N, Ito T, Suda K 他	整形外科	Corrigendum to "Manual calf massage and passive ankle motion reduce the incidence of deep vein thromboembolism after total hip arthroplasty"	J Orthop Sci. 2018 May;23(3):608	Others

小計13件

115	Sano H, Kondo N, Endo N.	整形外科	Intravital bone imaging~Osteocyte	Clin Calcium. 2018;28(2):223-230	Original Article
116	Shoji H, Hirano T, Watanabe K 他	整形外科	Risk factors for surgical site infection following spinal instrumentation surgery.	J Orthop Sci. 2018 May;23(3):449-454	Original Article
117	Takagi S, Sato T, Watanabe S 他	整形外科	Alignment in the transverse plane, but not sagittal or coronal plane, affects the risk of recurrent patella dislocation.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2018 Oct;26(10):2891-2898	Original Article
118	Mochizuki T, Tanifuji O, Koga Y 他	整形外科	Correlation between posterior tibial slope and sagittal alignment under weight-bearing conditions in osteoarthritic knees.	PLoS One. 2018 Sep 12;13(9):e0202488.	Original Article
119	Kakutani R, Kondo N, Mchizuki T 他	整形外科	Rapidly destructive arthrosis of bilateral humeral heads caused by subchondral insufficiency fracture.	Acta Med Okayama. 2018 Oct;72(5):525-530	Case report
120	Kondo N, Fujisawa J, Arai K 他	整形外科	Sacral stress fracture complicated by L5 radiculopathy in a patient with rheumatoid arthritis.	Acta Med Okayama. 2018 Oct;72(5):531-534	Case report
121	Imai N, Endo N, Shobugawa Y 他	整形外科	A decrease in the number and incidence of osteoporotic hip fractures among elderly individuals in Niigata, Japan, from 2010 to 2015.	J Bone Miner Metab. 2018 Sep;36(5):573-579	Original Article
122	Norio Imai, Dai Miyasaka, Kazuki Tsuchiya 他	整形外科	Evaluation of pelvic morphology in female patients with developmental dysplasia of the hip using three-dimensional computed tomography: A cross-sectional study.	J Orthop Sci. 2018 Sep;23(5):788-792	Original Article
123	Ohashi M, Watanabe K, Hirano T 他	整形外科	Predicting Factors at Skeletal Maturity for Curve Progression and Low Back Pain in Adult Patients Treated Non-Operatively for Adolescent Idiopathic Scoliosis with Thoracolumbar	Spine (Phila Pa 1976). 2018 May 10	Original Article
124	Katsumi K, Hirano T, Watanabe K 他	整形外科	Perioperative factors associated with favorable outcomes of posterior decompression and instrumented fusion for cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: A retrospective multicenter study.	J Clin Neurosci. 2018 Nov;57:74-78.	Original Article
125	Watanabe K, Ohashi M, Hirano T 他	整形外科	The influence of lumbar muscle volume on curve progression after skeletal maturity in patients with adolescent idiopathic scoliosis: A long-term follow-up study.	Spine Deform. 2018 Nov - Dec;6(6):691-698.e1	Original Article
126	Ohashi M, Watanabe K, Hirano T 他	整形外科	The Natural Course of Compensatory Lumbar Curves in Non-operated Patients with Thoracic Adolescent Idiopathic Scoliosis.	Spine (Phila Pa 1976). 2019 Jan 15;44(2):E89-E98	Original Article
127	NatsumedaM, Igarashi H, Motohashi K 他	脳神経外科	Advances and challenges in assessing 2-hydroxyglutarate in gliomas by magnetic resonance spectroscopy: a short review.	Neuropsychiatry (London). 2018; 8(6), 1831-1838	Review

小計13件

128	Okada M, Kawasaki A, Tamada A 他	脳神経外科	Growth cone phosphoproteomics reveals that GAP-43 phosphorylated by JNK is a marker of axon growth and regeneration.	ISCIENCE. June 2018; 4: 190-203	Original Article
129	Sano M, Takahashi N, Nagasaki K 他	脳神経外科	Polysomnography as an indicator for cervicomedullary decompression to treat foramen magnum stenosis in achondroplasia.	Child's Nervous System. November 2018; 34(11): 2275-2281	Original Article
130	Abe H, Natsumeda M, Kanemaru Y 他	脳神経外科	MGMT Expression Contributes to Temozolomide Resistance in H3K27M-Mutant Diffuse Midline Gliomas and MGMT Silencing to Temozolomide Sensitivity in IDH-Mutant Gliomas.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2018 Jul 15;58(7):290-295	Review
131	Nozawa T, Okada M, Natsumeda M 他	脳神経外科	EGFRvIII Is Expressed in Cellular Areas of Tumor in a Subset of Glioblastoma.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2019 Mar 15;59(3):89-97.	Original Article
132	Suzuki T, Stapleton CJ, Koch MJ 他	脳神経外科	Decreased wall shear stress at high-pressure areas predicts the rupture point in ruptured intracranial aneurysms.	J Neurosurg. 2019 Mar 15:1-7.	Original Article
133	Natsumeda M, Uzuka T, Watanabe J 他	脳神経外科	High Incidence of Deep Vein Thrombosis in the Perioperative Period of Neurosurgical Patients.	World Neurosurg. 2018 Apr;112:e103-e112	Original Article
134	Natsumeda M, Motohashi K, Igarashi H 他	脳神経外科	Reliable diagnosis of IDH-mutant glioblastoma by 2-hydroxyglutarate detection: a study by 3-T magnetic resonance spectroscopy.	Neurosurg Rev. 2018 Apr;41(2):641-647	Review
135	Tomita Y, Uemura H, Oya M 他	泌尿器科	Patients with metastatic renal cell carcinoma who benefit from axitinib dose titration: analysis from a randomised, double-blind phase II study.	BMC Cancer. 2019 Jan 7;19(1):17.	Original Article
136	Tasaki M, Kasahara T, Takizawa I 他	泌尿器科	Limited significance of repeated long-term radiological and hormonal examination in nonfunctioning adrenal incidentalomas.	Int Braz J Urol. 2018 Dec 18;44.	Original Article
137	Ominato J, Fukuchi T, Sato A 他	眼科	The Role of Mutation Rates of GNAQ or GNA11 in Cases of Uveal Melanoma in Japan.	Appl Immunohistochem Mol Morphol. 2018 Oct;26(9):658-663.	Original Article
138	Terashima H, Hasebe H, Okamoto F 他	眼科	COMBINATION THERAPY OF INTRAVITREAL RANIBIZUMAB AND SUBTHRESHOLD MICROPULSE PHOTOCOAGULATION FOR MACULAR EDEMA SECONDARY TO BRANCH RETINAL VEIN OCCLUSION: 6-MONTH RESULT.	Retina. 2018 Apr 23	Original Article
139	Hiroko Terashima, Fumiki Okamoto, Hiruma Hasebe 他	眼科	Vitrectomy for Epiretinal Membranes: Ganglion Cell Features Correlate with Visual Function Outcomes	Ophthalmology Retina Volume 2, Issue 11, November 2018, Pages 1152-1162	Original Article
140	Yamagishi T, Yoshitake K, Kamatani D 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Molecular diversity of clustered protocadherin-alpha required for executing higher cognitive functions in mice	Sci Rep. 2018 JUN 25 8(1): 9616	Original Article

小計13件

141	Takahashi N, Mori K, Baba H 他	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	Reliability and validity of the Japanese version of the Glasgow Edinburgh Throat Scale (GETS-J): Use for a symptom scale of globus sensation.	Auris Nasus Larynx. 2018 Oct;45(5):1041-1046	Original Article
142	Togashi T, Baba H, Kitazawa M 他	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	Surgical treatment of enterovirus D68 brainstem encephalitis -induced dysphagia.	Auris Nasus Larynx. 2018 Oct;45(5): 1093-1097	Original Article
143	Shodo R, Sato Y, Ueki Y 他	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	Asymptomatic diffuse idiopathic skeletal hyperostosis as a potential risk for severe dysphagia following partial laryngo-pharyngectomy.	Acta Otolaryngol Case Reports. 3: 29-33	Case report
144	Matsuyama H, Yamazaki K, Okabe R 他	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	Multicenter phase I/II study of chemoradiotherapy with high-dose CDDP for head and neck squamous cell carcinoma in Japan.	Auris Nasus Larynx. 2018 Oct;45(5):1086-1092	Original Article
145	Suda K, Nakaoka H, Hata C 他	産科婦人科	Concurrent isolated retroperitoneal HGSC and STIC defined by somatic mutation analysis: a case report.	Diagn Pathol. 2019 Feb 11;14(1):17.	Case report
146	Suda K, Nakaoka H, Hata C 他	産科婦人科	Clonal Expansion and Diversification of Cancer-Associated Mutations in Endometriosis and Normal Endometrium.	Cell Rep. 2018 Aug 14;24(7):1777-1789.	Original Article
147	Kudo R, Yamaguchi M, Sekine M 他	産科婦人科	Bivalent Human Papillomavirus Vaccine Effectiveness in a Japanese Population: High Vaccine-Type-Specific Effectiveness and Evidence of Cross-Protection.	J Infect Dis. 2019 Jan 9;219(3):382-390.	Original Article
148	Yamaguchi M, Sekine M, Kudo R 他	産科婦人科	Differential misclassification between self-reported status and official HPV vaccination records in Japan: Implications for evaluating vaccine safety and effectiveness.	Papillomavirus Res. 2018 Dec;6:6-10.	Original Article
149	Tamura R, Nakaoka H, Yoshihara K 他	産科婦人科	Novel MXD4-NUTM1 fusion transcript identified in primary ovarian undifferentiated small round cell sarcoma.	Genes Chromosomes Cancer. 2018 Nov;57(11):557-563.	Original Article
150	Ishiguro T, Yamawaki K, Chihara M 他	産科婦人科	Myomectomy scar ectopic pregnancy following a cryopreserved embryo transfer.	Reprod Med Biol. 2018 Jun 25;17(4):509-513.	Case report
151	Kitani Y, Ishiguro T, Kobayashi A 他	産科婦人科	Ectopic pregnancy following oral levonorgestrel emergency contraception use.	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Feb;45(2):473-476.	Case report
152	Nonaka T, Takahashi M, Nonaka C 他	産科婦人科	Treatment for patients with recurrent fetal losses positive for anti-cardiolipin beta2 glycoprotein I antibody using Sairei-to (Chai-ling-tang) and low-dose aspirin.	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Mar;45(3):549-555.	Original Article
153	Nakano H, Minami K, Yagi M 他	放射線診断科・ 治療科	Radiobiological effects of flattening filter-free photon beams on A549 non-small-cell lung cancer cells.	J Radiat Res. 2018 Jul 1;59(4):442-445	Original Article

小計13件

154	Tanabe S, Umetsu O, Sasage T 他	放射線診断科・ 治療科	Clinical commissioning of a new patient positioning system, SyncTraX FX4, for intracranial stereotactic radiotherapy.	J Appl Clin Med Phys. 2018 Nov;19(6):149-158	Original Article
155	Tanabe S, Takahashi H, Saito H 他	放射線診断科・ 治療科	Selection criteria for 3D conformal radiotherapy versus volumetric-modulated arc therapy in high-grade glioma based on normal tissue complication probability of brain.	J Radiat Res. 2019 Mar 1;60(2):249-256	Original Article
156	Furutani K, Matsuhashi M, Deguchi H 他	麻酔科	Marked attenuation of the amplitude of transcranial motor-evoked potentials after intravenous bolus administration of ketamine: a case report	J Med Case Rep. 2018 Jul 13;12(1):204	Case report
157	Ohashi N, Imai H, Seino Y 他	麻酔科	Pediatric Patients with High Pulmonary Arterial Pressure in Congenital Heart Disease Have Increased Tracheal Diameters Measured by Computed Tomography	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2018 Aug;32(4):1676-8	Original Article
158	Saito N, Funayama A, Arai Y 他	口腔再建外科	Vertical Distraction Osteogenesis of a Reconstructed Mandible with a Free Vascularized Fibula Flap: A Report of Two Cases.	Maxillofac Plast Reconstr Surg. 2018 Nov 15;40:1:32	Case report
159	Mikami T, Kato Y, Kojima T 他	口腔再建外科	An unusual and difficult diagnosis of synovial chondromatosis: a case report.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 2018 September; 30:5:422-427	Case report
160	Niimi K, Shingaki S, Funayama A 他	口腔再建外科	Oral and maxillofacial manifestations of methotrexate-associated lymphoproliferative disorder in a patient with rheumatoid arthritis: Report of a case.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 2019 March; 31:2:86-93	Case report
161	Nashida T, Shimomura- Kuroki J, Mizuhashi F 他	歯科放射線科	Presence of BPIFB1 in saliva from non-obese diabetic mice.	Odontology. 2018 Apr;106(2):117-124	Original Article
162	Nikkuni Y, Nishiyama H, Hyayashi T.	歯科放射線科	The relationship between masseter muscle pain and T2 values in temporomandibular joint disorders.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2018 Oct;126(4):349-354	Original Article
163	Hayashi-Sakai S, Sakamoto M, Hayashi T 他	歯科放射線科	Evaluation of permanent and primary enamel and dentin mineral density using micro-computed tomography.	Oral Radiol. 2019 Jan;35(1):29-34	Original Article
164	Mikami T, Kato Y, Kojima T 他	歯科放射線科	An unusual and difficult diagnosis of synovial chondromatosis: A case report.	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Volume 30, Issue 5,	Case report
165	Hiroko Kanemaru, Yurie Yamada, Atsushi Ohazama 他	歯科麻酔科	Semaphorin3A Inhibits Nerve Regeneration During Early Stage after Inferior Alveolar Nerve Transection	Sci Rep. 2019 Mar 12;9(1):4245	Original Article
166	Kanemaru H, Tsurumaki T, Kurata S 他	歯科麻酔科	Endotracheal Intubation Complicated by a Palatal Tooth in a Patient With Treacher Collins Syndrome.	Anesth Prog. 2019 Spring;66(1):42-43	Case report

小計13件

167	Nishida Y, Yamada Y, Kanemaru H 他	歯科麻酔科	The Sonic Hedgehog signaling pathway regulates inferior alveolar nerve regeneration.	Neurosci Lett. 2018 Apr 3 ; 671:114-119.	Original Article
168	Saitoh I, Inada E, Kaihara Y 他	小児・障がい者 歯科	An exploratory study of the factors related to mouth breathing syndrome in primary school children.	Arch Oral Biol. 2018. Aug; 92: 57-61	Original Article
169	Kurosawa M, Oda M, Domon H 他	小児・障がい者 歯科	Streptococcus pyogenes CAMP factor promotes calcium ion uptake in RAW264.7 cells.	Microbiol Immunol. 2018. Oct; 62(10): 617-623	Original Article
170	Soda M, Saitoh I, Murakami T 他	小児・障がい者 歯科	Repeated human deciduous tooth-derived dental pulp cell reprogramming factor transfection yields multipotent intermediate cells with enhanced iPS cell formation capability.	Sci Rep. 2019. Feb; 9(1): 1490	Original Article
171	Nagai T, Trakanant S, Kawasaki M 他	矯正歯科	The microRNAs control eyelid development through regulating Wnt signaling.	Dev Dyn. 2019 Mar;248(3):201-210	Original Article
172	Ishikawa R, Kawasaki M, Kawasaki K 他	矯正歯科	Sox Genes Show Spatiotemporal Expression during Murine Tongue and Eyelid Development.	Int J Dent. 2018 Oct 9;2018:1601363	Original Article
173	Kamimura R, Hossain MZ, Unno S 他	矯正歯科	Inhibition of the degrading of 2-arachidonoylglycerol (2-AG) attenuated orofacial neuropathic pain following an injury to the trigeminal nerve in mice.	J Oral Sci 60(1): 37-44, 2018.	Original Article
174	Asai Y, Haebe D, Saito I 他	矯正歯科	Changes of nasal and oronasopharyngeal airway morphologies and nasal respiratory function following orthognathic surgery.	J Oral Maxillofac Surg Med Path 30(4): 313-318, 2018.	Original Article
175	Tabeta K, Hosojima M, Nakajima M 他	歯周病科	Increased serum PCSK9, a potential biomarker to screen for periodontitis, and decreased total bilirubin associated with probing depth in a Japanese community survey	J Periodontal Res. 2018 Jun;53(3):446-456	Original Article
176	Morozumi T, Yashima A, Gomi K 他	歯周病科	Increased systemic levels of inflammatory mediators following one-stage full-mouth scaling and root planing	J Periodontal Res. 2018 Aug;53(4):536-544	Original Article
177	Komatsu Y, Kubota T, Yasuda T 他	歯周病科	Effectiveness of an erbium-doped: yttrium, aluminum and garnet laser for treatment of peri-implant disease: Clinical, microbiological, and biochemical marker analyses	J Clin Exp Dent. 2018 Oct 1;10(10):e970-e978	Original Article
178	Yoshihara N, Edanami N, Tohma A 他	歯の診療科	Detection of bone marrow-derived fibrocytes in human dentalpulp repair.	Int Endod J. 2018 Nov ; 51:1187-1195	Original Article
179	Takenaka S, Ohsumi T, Noiri Y.	歯の診療科	Evidence-based strategy for dental biofilms: Current evidence of mouthwashes on dental biofilm and gingivitis.	Jpn Dent Sci Rev. 2018 Nov ; 55:33-40	Review

小計13件

180	Yamaguchi M, Noiri Y, Itoh H 他	歯の診療科	Factors that cause endodontic failures in general practices in japan	BMC Oral Health. 2018.April; 18(オンライン)	Original Article
181	Hasegawa Y, Sakuramoto A, Sugita H 他	義歯診療科	Relationship between oral environment and frailty among older adults dwelling in a rural Japanese community: a cross-sectional observational study.	BMC Oral Health. 2019 Jan 22;19(1):23	Original Article
182	Fujiwara S, Fujiu-Kurachi M, Hori K 他	義歯診療科	Tongue Pressure Production and Submental Surface Electromyogram Activities During Tongue-Hold Swallow with Different Holding Positions and Tongue Length.	Dysphagia. 2018 Aug, 33(4): 403-413	Original Article
183	Takashima M, Arai Y, Kawamura A 他	顎関節治療部	Risk factors associated with post-loading implant loss of removable and fixed implant-supported prostheses in edentulous jaws.	Prosthodont Res. 2018 Jul;62(3):365-369	Original Article

小計4件
計183件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名, 出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article, Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	南野 徹	循環器内科	細胞老化を標的とした循環代謝制御	血管 2018; 41: 1-7.	Original Article
2	久保田直樹, 長 谷川祐紀, 佐藤 光希 他	循環器内科	下壁由来の心室期外収縮が心室細動のト リガーと考えられたBrugada症候群の1例	心臓 2018; 50: 75-82.	Case report
3	渡部 裕	循環器内科	カテコラミン感受性多形性心室頻拍 (CPVT)	臨床検査 2018; 62: 1072-1079.	Review
4	山口 祐美, 尾 崎 和幸, 高野 俊樹 他	循環器内科	Cabrol graftと両側冠動脈の吻合部狭窄に 対して待機的PCIを施行したMarfan症候群 の一例	心臓 2018; 50: 902-907.	Case report
5	松尾 佑治, 尾 崎 和幸, 高野 俊樹 他	循環器内科	重症大動脈弁狭窄症を合併し心破裂を生 じた急性心筋梗塞の一例	心臓 2018; 50: 1041-1046.	Case report
6	山本 卓, 青池 郁夫	腎・膠原病内科	前希釈, 後希釈OL-HDF, I-HDFをどのよ うに使い分けるか	日本透析医会雑 誌 33(2): 287- 293, 2018	Review
7	張 高正, 佐藤 弘恵, 金子 佳賢 他	腎・膠原病内科	SLEモデルマウスにおける抗リボソームP抗 体による精神障害・腎障害・肝障害の解明	新潟県医師会報 (824): 11-12, 2018	Review
8	黒田 毅, 坂井 俊介, 高村紗由 里 他	腎・膠原病内科	生物学的製剤による高齢関節リウマチ合併 アミロイドーシス症例の治療	中部リウマチ 48(2): 6-8, 2018	Review
9	若杉三奈子, 成 田 一衛	腎・膠原病内科	透析導入の見合わせ(非導入)割合の推移	日本腎臓学会誌 61(2): 91-97, 2019	Original Article
10	斎藤 亮彦	腎・膠原病内科	腎障害性物質の「入り口」分子メカニニ をターゲットにした腎臓病のトランスレーショ ナルリサーチ	新潟県医師会報 (828): 2-6, 2019	Review
11	若杉三奈子	腎・膠原病内科	CKD対策の効果	日本腎臓学会 61(2): 86-90, 2019	Review

小計11件

12	佐藤美由紀, 渡部 聡, 青木信将 他	呼吸器・感染症 内科	ダサチニブによる器質化肺炎の1例	癌と化学療法. 2018.05;45(5):851-854	Case report
13	市川紘将, 渡部 聡, 近藤利恵 他	呼吸器・感染症 内科	サルコイドーシス/サルコイド反応合併肺癌の病期決定におけるEBUS-TBNA の有用性	肺癌. 2018;58:88-92	Original Article
14	菊地利明, 茂呂 寛	呼吸器・感染症 内科	非結核性抗酸菌症の菌側の要因	日本医師会雑誌. 2018.04;147(1):53-56	Review
15	田中純太	呼吸器・感染症 内科	魚沼圏域の地域医療における疾病予防とコホート研究	新潟県医師会報. 2018.07;820:2-6	Review
16	田中純太, 蒲澤佳子, 伊藤由美 他	呼吸器・感染症 内科	魚沼コホート研究:うおぬま地方の健康調査	新潟医学会雑誌. 2018;132(4):115-119	Review
17	大橋和政, 伊藤 竜, 高田俊範 他	呼吸器・感染症 内科	急速進行性間質性肺疾患に対するエンドトキシン吸着療法に伴う血清サイトカイン濃度の変化	エンドトキシン血症救命治療研究会誌. 2018;22(1):60-63	Original Article
18	菊地利明, 茂呂 寛	呼吸器・感染症 内科	感染症のバイオマーカー	日本医師会雑誌. 2018.12;147(9):1838-1839	Review
19	茂呂寛, 塚田弘樹	呼吸器・感染症 内科	高齢者肺炎の治療と予防	日本化学療法学会雑誌. 2019.01;67(1):1-12	Review
20	茂呂寛, 菊地利明	呼吸器・感染症 内科	わが国における抗酸菌感染症の現状	Medical Technology. 2019.02;47(2):106-110	Review
21	茂呂寛	呼吸器・感染症 内科	感染症における鉄代謝～宿主, 病原体, 抗微生物薬の視点から～	日本化学療法学会雑誌. 2019;67(2):169-175	Review
22	森田 慎一, 須田剛士, 寺井崇二	消化器内科	超音波内視鏡検査時の十二指腸穿孔に対しOver-The-Scope Clip(OTSC)による創閉鎖が有効であった1例	ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease34(1), 31-37, 2018	Case report
23	金澤 雅人, 小野寺 理, 饗場 郁子	脳神経内科	【パーキンソン病(第2版)-基礎-臨床研究のアップデート-】検査・診断 関連疾患 進行性核上性麻痺 臨床病型の多様性およびパーキンソン病との鑑別診断(解説/特集)	日本臨床. 2018.05;76巻・増刊4 パーキンソン病 ;330-337	Review
24	小池 佑佳, 須貝章弘, 小野寺 理	脳神経内科	【脳タンパク質老化と認知症制御】脳タンパク質とその標的RNAの均衡と破綻(解説/特集)	細胞.2018.05;50巻6号;303-306	Review

小計13件

25	河内 泉	脳神経内科	【中枢神経系脱髄疾患の最前線-抗MOG抗体の関与を考える】多発性硬化症に自己抗体の関与はあるか 病理(解説/特集)	Clinical Neuroscience.2018.11;36巻11号;1286-1290	Review
26	坪口 晋太郎, 石原 智彦, 小野寺 理	脳神経内科	【神経疾患とトレース・メタル-知っていますか?】鉄 Friedreich失調症と鉄代謝(解説/特集)	Clinical Neuroscience.2019.3;37巻3号;308-310	Review
27	今野卓哉,野崎 洋明,池内健 他	脳神経内科	Ⅱ. 本年の動向 3.成人発症遺伝性白質脳症の医療基盤	Annual Review 神経2019.3;2019巻;82-88	Review
28	丸山馨, 入月 浩美, 佐々木直 他	小児科	正常子宮サイズと女性外性器を有する45,X/47,XXX 核型のTurner 症候群	日本小児科学会雑誌. 2018;122(12):1850-1854	Case report
29	柴田奈央,入月 浩美,佐藤英利 他	小児科	新生児マスキングTSH高値を呈したDown症候群の頻度と臨床的特徴.	日本マスキング学会誌. 2018;28(3): 47-52	Original Article
30	若井 俊文, 坂田 純, 堅田 朋大 他	消化器外科_乳腺・内分泌外科	胆嚢癌の画像診断と外科治療	胆道. 2018; 32(1): 44-50.	Others
31	小山 諭	消化器外科_乳腺・内分泌外科	【静脈栄養における脂肪乳剤の使い方】序論:脂肪乳剤の特集について	日本静脈経腸栄養学会雑誌. 2018; 33(2): 721-725.	Others
32	永橋 昌幸, 若井 俊文	消化器外科_乳腺・内分泌外科	【明日を拓く乳がん診療-新たなチームアプローチ】乳がん領域におけるゲノム医療の新展開	日本医師会雑誌. 2018; 147(3): 520-524.	Others
33	平石哲也, 棗田 学, 岡田正康 他	脳神経外科	悪性髄膜腫における個別化医療の可能性	Precision Medicine. 2018; 2(1): p54-58	Original Article
34	齋藤 太希, 大石 誠, 福多 真史 他	脳神経外科	Posterior quadrantectomyが有効であった難治性てんかんの乳児例	脳神経外科 47(3):349-356,2019	Case report
35	田崎 正行, 齋藤 和英, 中川 由紀 他	泌尿器科	慢性抗体関連型拒絶反応に対するボルテゾミブの使用経験	日本泌尿器科学会雑誌. 2018;109(2):68-73	Original Article
36	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	前庭性めまいの発症機序と慢性めまい治療における精神治療の役割	心身医学. 2018.58:499-503	Original Article
37	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	高齢者のめまい 特集/めまい・耳鳴りの診療のポイント	臨床と研究. 2018.95: 759-763	Original Article

小計13件

38	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	第119回日本耳鼻咽喉科学会総会教育セミナー急性めまい診断フローチャート:危険なめまいを見逃さないために	日本耳鼻咽喉科学会会報.2018.121:1240-1242	Original Article
39	甲斐竜太,外山英和,那波宏之他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	ストレスめまい関連:中枢メカニズムに関して	心身医学.2018.58: 524-528,	Original Article
40	関根雅幸,榎本隆之	産科婦人科	【婦人科腫瘍の新たな治療戦略】卵巣がんの新たな治療戦略 PARP阻害薬	Pharma Medica (0289-5803)37巻2号 Page19-23	Review
41	小林 暁子,磯部真倫,上田 遥香他	産科婦人科	帝王切開既往症例における膀胱挙上、癒着に対する腹腔鏡下子宮全摘術時の膀胱剥離の定型化	新潟産科婦人科学会誌 (2186-6244)113巻1号 Page21-25	Original Article
42	日向 妙子,生野寿史,山口 雅幸他	産科婦人科	孤発の胎児脳梁欠損11症例に関する検討	新潟産科婦人科学会誌 (2186-6244)113巻1号 Page16-20	Original Article
43	工藤 梨沙,榎本隆之	産科婦人科	【HPVワクチンを改めて考える-接種勧奨の再開に向けて-】HPVワクチンの有効性 わが国の成績	産婦人科の実際 (0558-4728)67巻9号 Page975-980	Review
44	榎本 隆之	産科婦人科	婦人科腫瘍におけるPrecision Medicineの現況と展望	日本産科婦人科学会雑誌 (0300-9165)70巻9号 Page1769-1777	Review
45	関根 正幸,榎本隆之	産科婦人科	【婦人科がん-研究・臨床の新展開】遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC) 遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)の診断と治療の今後	医学のあゆみ (0039-2359)266巻1号 Page121-126	Review
46	西川 伸道,島田能史,若井 俊文他	産科婦人科	【卵巣癌の手術up to date】消化器合併切除	産婦人科の実際 (0558-4728)67巻5号 Page503-508	Review
47	山口 真奈子,石黒 竜也,榎本隆之	産科婦人科	【産婦人科外来パーフェクトガイド-いまのトレンドを逃さずチェック!】疾患編 悪性腫瘍《がん検診》子宮頸がん検診/検診異常の精査	臨床婦人科産科 (0386-9865)72巻4号 Page412-416	Review
48	高桑 好一	産科婦人科	【赤ちゃんとお母さんのためのアレルギー読本】[産科各論] 花粉症	周産期医学 (0386-9881)48巻増刊 Page565-568	Review
49	石黒 竜也	産科婦人科	がん幹細胞の特性解明とがんにおける幹細胞性の意義	新潟県医師会報 (0912-2796)826号 Page2-6	Review
50	大橋宣子	麻酔科	人工心肺離脱直後に術中経食道心エコーにより診断された心室中隔血腫の一例	Cardiovasc Anesth. 2018. 22(1):133-7	Case report

小計13件

51	金丸博子, 弦巻立, 倉田行伸 他	歯科麻酔科	口蓋の転位歯が挿管操作を困難にした Treacher-Collins症候群患者の1例	日本歯科麻酔学会雑誌, 46(2): 89-91, 2018.	Case report
52	佐藤由美子, 田中裕, 金丸博子 他	歯科麻酔科	ケミカルコーピングが疑われた患者にオピオイドを併用して鎮静法管理を行った1症例	日本歯科麻酔学会雑誌, 47(1), 16-18, 2019.	Case report
53	佐藤由美子, 田中裕, 弦巻立 他	歯科麻酔科	歯科麻酔科医が緩和ケアチームへ参加することの役割について	日本歯科麻酔学会雑誌, 46(2): 102-104, 2018.	Case report
54	佐久間英伸, 小田陽平, 新美奏恵 他	口腔再建外科	ICD植込み患者に対する矯正手術の周術期管理－病態の異なる2例報告と文献的考察－	日顎変形会誌. 2018.12;28(4): 296-301.	Case report
55	長谷部大地, 原太一, 加藤祐介 他	口腔再建外科	外科的矯正治療を施行した先端巨大症の1例.	日顎変形会誌. 2018.12;28(4): 286-295.	Case report
56	新美奏恵, 長谷部大地, 船山昭典 他	口腔再建外科	顎顔面領域の多発開放骨折を伴った交通外傷の1例.	日顎変形会誌. 2018.12;28(4): 286-295.	Case report
57	齋藤直朗, 竹内玄太郎, 浅井佑介 他	口腔再建外科	上顎歯肉に転移した腎細胞癌の1例.	新潟歯会誌 2018.10.48(2): 29-34	Case report
58	佐久間英伸, 森下佳学, 兵藤俊介 他	口腔再建外科	上顎洞内に歯根と癒着した骨化上顎洞ポリープを認めた1例.	日口腔外会誌. 2018.02; 64(5): 255-258	Case report
59	金丸祥平, 新垣晋, 芳澤享子 他	口腔再建外科	線維性異形成症に続発した下顎低悪性骨中心性骨肉腫の1例.	日口腔外会誌. 2018.04;64(7): 423-428	Case report
60	新美奏恵, 芳澤享子, 船山昭典 他	口腔再建外科	同種幹細胞移植後の慢性GVHDに伴う白板症より発生した舌扁平上皮癌の1例.	日口腔内会誌. 2018.24(2):46-52	Case report
61	池田順行, 小野和宏, 阿部裕子 他	顎顔面口腔外科	顎矯正手術を行ったビスフォスフォネートを内服する顎変形症の1例.	新潟歯学会誌.2018.12;48 (2):91-96	Case report
62	齋藤太郎, 小山貴寛, 黒川亮 他	顎顔面口腔外科	新潟大学医歯学総合病院顎顔面口腔外科における口腔扁平苔癬患者の臨床統計的検討	新潟歯学会誌.2018.06;33 (1):23-27	Original Article
63	大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光 他	顎顔面口腔外科	二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討－ナゾメーターによる分析－	新潟歯学会誌.2018.06;33 (1):17-21	Original Article

小計13件

64	坂本 信, 坂上勇太, 森清友亮 他	歯科放射線科	コーンビームCTによる前歯部の三次元自動歯軸および歯列決定法.	臨床バイオメカニクス 2018;39:207-216.	Original Article
65	池田順行, 小玉直樹, 西野和臣 他	歯科放射線科	術後2ヵ月で手術部位感染が顕在化した顎変形症の1例.	日本顎変形症学会雑誌 2018;28(2):136-136.	Case report
66	長谷部大地, 齋藤 功, 小林正治	矯正歯科	日本人におけるIndex of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN)の有有用性についての検討 - 第1報 -	日顎変形誌, 2019;29(1): 5-10	Original Article
67	本多綾子, 高橋功次朗, 丹原惇 他	矯正歯科	クラスター分析による骨格性下顎前突症例における正貌パターンの分類	新潟歯学会誌, 2018;48(2):75-83	Original Article
68	坂上 馨, 栗原加奈子, 深町直哉 他	矯正歯科	骨格性下顎前突症患者の顎矯正手術後における嚥下時舌圧発現様相の解析	日顎変形誌, 2019;29(1): 42-50	Original Article
69	小野高裕, 堀一浩, 藤原茂弘	義歯診療科	咀嚼・嚥下運動解析システムの開発とその展開 - 診断・治療・リハビリテーション・食品開発に向けて -.	新潟歯学会雑誌 Jun 2018, 48: 1-15,	Original Article
70	小林 哲夫	歯科総合診療部	歯周炎が関節リウマチに及ぼす影響	日本臨床歯周病学会会誌 2019.02; 36(2): 13-17.	Review
71	吉田 謙介, 児玉 泰光, 磯辺浩和 他	薬剤部	普通抜歯に対する予防的抗菌薬使用実態とSSI発生状況の調査検討	日本環境感染学会誌 2018.09;33(5)207-212	Others

小計8件
計71件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など、臨床研究に関する倫理指針に基づき開催される倫理審査委員会の標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 産学官連携活動を含む社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の産学官連携活動等の推進を図るもの	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年10回
・ 研修の主な内容 医師、歯科医師等の臨床研究を行う者や、その他臨床研究に携わる者に対する倫理教育・研修	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の連携医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、連携医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	医科88人, 歯科10人
-------------	--------------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
南野 徹	循環器内科	教授	29年	
曾根博仁	内分泌・代謝内科	教授	27年	
曾根博仁	血液内科	教授	27年	
成田一衛	腎・膠原病内科	教授	34年	
菊地利明	呼吸器・感染症内科	教授	27年	
菊地利明	心療内科	教授	27年	
寺井崇二	消化器内科	教授	27年	
寺井崇二	胆肝膵内科	教授	27年	
小野寺 理	脳神経内科	教授	30年	
西條康夫	腫瘍内科	教授	33年	
染矢俊幸	精神科	教授	34年	
齋藤昭彦	小児科	教授	26年	
若井俊文	消化器外科	教授	25年	
若井俊文	乳腺・内分泌外科	教授	25年	
土田正則	心臓血管外科	教授	32年	
土田正則	呼吸器外科	教授	32年	
遠藤直人	整形外科	教授	37年	
松田 健	形成・美容外科	教授	21年	
木下義晶	小児外科	准教授	26年	
藤井幸彦	脳神経外科	教授	34年	
阿部理一郎	皮膚科	教授	23年	

富田善彦	泌尿器科	教授	32年
福地健郎	眼科	教授	32年
堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	教授	28年
榎本隆之	産科婦人科	教授	34年
青山英史	放射線治療科	教授	23年
青山英史	放射線診断科	教授	23年
馬場 洋	麻酔科	教授	29年
遠藤 裕	高次救命災害治 療センター	教授	38年
遠藤直人	総合リハビリテ ーション	教授	37年
味岡洋一	病理部	教授	32年
藤井規孝	歯科総合診療部	教授	26年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数（看護部）

＜別添1＞を参照（対象研修：専門領域シリーズ等）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数（検査部）

＜別添2＞①を参照

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数（薬剤部）

＜別添3＞を参照

・研修の主な内容（放射線部）

RALS機器安全管理講習会，直線加速器機器安全管理講習会

・研修の期間・実施回数：各 2 時間 計 2 回

・研修の参加人数：7 人，6 人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数（看護部）

＜別添1＞を参照（対象研修：基礎研修及び役割研修等）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数（検査部）

＜別添2＞②を参照

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容・研修の期間・実施回数、研修の参加人数（看護部）

＜別添4＞を参照

- ・研修の主な内容（薬剤部）

H30年度 妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研修

- ・研修の期間・実施回数：①H30年6月4日～8日 5日間

②H31年2月4日～8日 5日間 計2回

- ・研修の参加人数：①1名 ②2名 計3名

- ・研修の主な内容（放射線部）

放射線治療研修

- ・研修の期間・実施回数：一ヶ月・2回

- ・研修の参加人数：2名

- ・研修の主な内容（臨床工学部門）

急性期から慢性期にかけての血液浄化療法を安全に行うために必要な知識・技能の研修

- ・研修の期間・実施回数：年一回・2週間

- ・研修の参加人数：2名/年

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

平成30年度キャリア開発支援研修計画実績

研修名	受講対象者	ねらい	講師・研修担当	開催年月日	参加人数		
新採用者オリエンテーション		社会人・医療人としての心構えを持つ	看護部	4/2(月)、4/3(火)、4/6(金)	72		
労働安全衛生教育		労働者の安全衛生に関する知識を習得できる	健康管理センター産業医	4/3(火)	72		
防災と避難訓練及び医療ガス管理		防災と医療ガス管理について理解できる	管理運営課	4/4(水)	72		
基礎研修	新採用者	感染管理 1	院内感染対策マニュアルに沿った、基本的な知識と技術を習得できる	感染管理認定看護師 安全管理部 GRM	4/5(木)	72	
		安全管理 1	医療安全管理マニュアルに沿った、基本的な看護技術を習得できる 安全管理の視点から「患者確認行動」「指示受け方法」が理解できる	看護安全管理委員会			
		看護記録 1	院内における看護記録の概要を理解できる	看護情報委員会		72	
		接遇	接遇の基本ができる	外部講師		72	
		褥瘡ケア	院内における褥瘡管理について理解できる 褥瘡発生要因、褥瘡発生防止について理解できる	皮膚・排泄ケア認定看護師	4/18(水)	70	
		口腔ケア	基本的な口腔ケア技術を習得できる	外来4・5階看護師			
		メンタルヘルスケア	自己のメンタルヘルスケアに目を向けることができる	保健管理センター産業医	5/8(火)	70	
		急変時の応援要請方法	急変時の応援要請方法が理解できる 救急カーットの設置場所と中身がわかる	看護職キャリア開発コアセンター			
		褥瘡予防体験	患者体験を通して、褥瘡予防方法を理解できる	皮膚・排泄ケア認定看護師 院内認定看護師	5月21日～6月1日	70	
		高齢者看護	高齢者の特徴を理解できる 高齢者の身辺介助を行なう際の注意点がわかる	看護職キャリア開発コアセンター			
		コミュニケーション①	提示された看護場面を通して患者とのコミュニケーションに必要な要素を理解できる	看護職キャリア開発コアセンター	7/7(土)	68	
		コミュニケーション②	日々のコミュニケーションを振り返り、コミュニケーションにおける今後の課題をみつけることができる	看護職キャリア開発コアセンター	10/18(木) or 10/23(火)	68	
		点滴・注射の基礎知識	点滴の管理をする上で、必要な知識が理解できる	看護職キャリア開発コアセンター	4/4(水)	72	
		糖尿病の基礎知識 1	インスリン指示票の見方、血糖測定とインスリン注射の基本が理解できる	看護職キャリア開発コアセンター	4/4(水)	72	
		糖尿病の基礎知識 2	インスリン療法について理解できる 低血糖と対処方法が理解できる インスリン注射時の注意点が理解できる	看護職キャリア開発コアセンター	5/8(火)	70	
		薬剤の基礎知識	薬剤を取り扱う上で、注意すべき薬剤とそのリスクについて理解できる	薬剤部薬剤師 看護職キャリア開発コアセンター	5/18(金)	69	
		輸血の基礎知識	輸血の基礎がわかる	学会認定自己血輸血看護師	5/18(金)	69	
		臨床技術トレーニングプログラム	ステップⅠ (静脈注射1「点滴の管理」 静脈注射2「輸液ポンプとシリンジポンプ」 採血 筋肉注射・皮下注射 酸素療法 静脈注射3「薬剤の知識」 静脈注射4「がん化学療法の看護」 静脈注射5「静脈留置針の刺入」)	点滴調合～実施の手順を安全・清潔に実施できる 輸液ポンプとシリンジポンプの基本的操作方法を理解できる 真空採血を安全・清潔に実施できる 筋肉注射・皮下注射を安全・清潔に実施できる 酸素ポンペを安全に取り扱うことができる 酸素吸入療法を安全に実施できる 薬剤を取り扱う上で、注意すべき薬剤とそのリスクについて理解できる 化学療法をうける患者の看護の基礎を理解できる 静脈留置針の刺入の基準手順が理解できる シミュレーターを使用しての静脈留置針の刺入を安全・清潔に実施できる	看護職キャリア開発コアセンター 薬剤部薬剤師 がん化学療法看護認定看護師	静脈注射1～2、採血、筋肉注射・皮下注射：4月 酸素療法：5月 静脈注射3～5：11月	67
			ステップⅡ 「基本看護技術の応用編」	患者の個性性を考慮し、状況に合わせて看護行為を工夫できる		6月11日～26日	67
			ステップⅢ 「多重課題」	多重課題の事例を通し、最適な方法の選択と実践ができる 課題の学習プロセスを学び、臨床でプロセスを活用できる		11/8(木)、12月4日6日11日	68
臨床実践能力セルフ・モニタリングプログラム(SMP) 3か	自己の観察判断の傾向と課題を学ぶ(3か月) 自己の観察判断の成長を確認する(6か月)	看護職キャリア開発コアセンター	3か月：7月6か月：12月	68			
看護記録 2	看護診断の基礎知識を習得できる	看護情報委員会	7/7(土)	68			
救急看護 1 「気管挿管に使用する器材に触れてみよう」 「BLS研修」	気管挿管に使用する器材の組み立て方法がわかる BLSとAED使用の知識、および技術を習得できる	看護職キャリア開発コアセンター BLS院内研修担当者	6/28(木)・7/5(木)・7/19(木)・7/26(木)	68			
フィジカルアセスメント 1	患者の状態を観察しアセスメントができる 患者の状態を的確に報告できる	看護職キャリア開発コアセンター					
フィジカルアセスメント 2 「循環器：心電図」	心電図の正常・異常が判断できる	高次救命災害治療センター看護師	10/18(木) or 10/23(火)	69			

小児看護	希望者 (新採用者 ほか)	小児の呼吸・循環の異常を理解できる 異常時・急変時の行動を理解できる	小児救急看護認定看護師	10/18 (木)	41	
リフレッシュ研修 1	新採用者	同期との交流を通し、思いを共有し合うことで、前向きな気持ちを持つことができる	看護職キャリア開発センター	5/8 (火)	70	
リフレッシュ研修 2		仕事への責任感からくるストレスフルな気持ちを同期と共感し合い、一緒にストレス対処方法を考えることができる		7/7 (土)	67	
リフレッシュ研修 3		自己の看護を振り返ることや、理想とする看護師像を同期と話し合うことで、残り半年の目標を考えることができる		10/18 (木) or 10/23 (火)	68	
リフレッシュ研修 4		入職後1年間を振り返り、自己の成長と今後の課題を見つけることができる		3/13 (水) or 3/14 (木)		
リフレッシュ研修 5		同期との交流を通して、次年度に向けた自己の課題を考えることができる		1/31 (木) or 2/14 (木)	59	
安全管理 2	レベルⅠ	看護実践に必要な知識・技術を習得できる	看護安全管理委員会	7/3or 7/17	58	
感染管理 2			感染管理認定看護師	10/6(土)	56	
事例検討		看護実践過程を振り返り研究的視点で分析できる	看護研究支援委員会	年に2回予定 ①6/16(土) ②10/6(土)	57	
救急看護 2 「急変時の看護」	2年目 看護職員	基礎観察能力、および患者状態が変化した時の対応を習得できる	集中ケア認定看護師 看護職キャリア開発センター	1/31 (木) or 2/14 (木)	59	
研修名	受講対象者	ね ら い	講師・研修 担当	開催年月日	参加人数	
役割 研修	リーダーシップ(基礎編)	レベルⅡ	リーダーシップの基本を習得できる	教育委員会	7/13 (金) or 1/18(金)	59
	リーダーシップ(実践編)	レベルⅢ	部署の目標管理においてリーダーシップを発揮できる	教育委員会	オリ5/14(月) 実践報告書提出・2/22(金) 報告会	①21②19
	プリセプターシップ(基礎編)	レベルⅡ (取得見込含む)	プリセプターシップを理解できる	外部講師・教育委員会	2/9 (金) or 2/15(金)	60
	プリセプターシップ(実践編)	レベルⅡ	プリセプターシップを理解し、役割機能を遂行できる	教育委員会	年に2回開催 ①6/6 (水) or 6/18 (月) ②1/16 (水) or 1/28 (月)	①59②54
	組織管理	レベルⅢ	組織の一員として果たす役割を理解できる	副看護部長	8/2 (木)・11/12 (月)	41
	キャリアデザイン	レベルⅡ～ レベルⅢ	自己に気づき、今後の自身の目標を設定できる 自らを見つめ直し、将来の自己イメージを確立できる	外部講師	レベルⅡ・Ⅲ12/1 (土) or 12/15(土)	Ⅱ45Ⅲ33
	看護管理	看護師長	看護管理者としての役割を遂行できる	外部講師	①7/24 (火) ②2/16(土)	①5年目未満 9②全31
	看護管理	副看護師長	看護管理者としての役割を遂行できる	外部講師	8/4(土)・2・Ⅲ(土)	①5年目未満 15②16
	教育担当者研修	教育担当者 (スタッフ)	現任教育において能力を発揮できる	外部講師・教育委員会	①3/1 (木) 終了 ②6/5 (火) ③10/15(月) (次年度担当者対象 3/8(金))	①22②21③ 26
	2年目サポーター研修	2年目サポーター	2年目サポーターとして役割を遂行できる	教育委員会	①3/12(月) オリエンテーション終了 ②10/24 (火) (H31. 3/1 次年度オリ)	①18②23
	看護記録	看護情報係	情報管理において能力を発揮できる	看護情報委員会	①5/25(金) ②10/12 (金)	①48②34
	栄養サポート	NST担当者	栄養サポートにおいて能力を発揮できる	看護部NST	6/4 (月)	19
	感染管理	ICM	感染管理において能力を発揮できる	看護感染管理委員会	①5/30(水) ②11/29(木)	①30②30
	安全管理	安全管理担当者	安全管理において能力を発揮できる	看護安全管理委員会	①5/15(火) ②11/20(火)	①29②29
	退院支援	退院支援担当者	退院支援において能力を発揮できる	看護部地域保健医療推進部会	①5/21 (月) ②10/22(月)	①43②25
	緩和ケア	緩和ケア担当	緩和ケアにおいて能力を発揮できる	看護安全管理委員会	①6/1 (金) ②12/7(金)	①15②14
	褥瘡ケア	褥瘡担当	褥瘡担当において能力を発揮できる	看護部褥瘡対策チーム	①6/14 (木) ②3/11	①22②26
	実習指導	実習指導者 (スタッフ)	実習指導において能力を発揮できる	看護部臨地実習委員会	①6/12 (火) ②12/11 (火)	①30②25
	実習指導	実習指導者 (スタッフ)	実習指導において能力を発揮できる	看護部臨地実習委員会	①6/12 (火) ②12/11 (火)	①30②25
研修名	受講対象者	ね ら い	講師・研修 担当	開催年月日	参加人数	
専門 領域 シリーズ	院内認定看護師コース 感染管理	レベルⅢ 以上	感染管理に関する専門的知識・技術を習得し、水準の高い実践およびスタッフ指導ができる	感染管理認定看護師・ 副看護部長	シリーズ10回 (6月～)	0
	院内認定看護師コース スキンケア	レベルⅢ 以上	スキンケアに関する専門的知識・技術を習得し、水準の高い実践およびスタッフ指導ができる	皮膚・排泄ケア認定看護師・ 副看護部長	シリーズ10回 (6月～)	3
	感染管理	レベルⅢ 以上	感染管理に関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	感染管理認定看護師	シリーズ10回 (5/16. 6/20. 7/18. 8/29. 9/19. 10/17. 11/21. 12/19. 1/16. 2/20)	9
	スキンケア	レベルⅢ 以上	スキンケアに関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	皮膚・排泄ケア認定看護師	シリーズ8回 (6/12. 7/10. 8/14. 9/11. 10/16. 11/13. 12/11. 1/8)	28
	呼吸ケア	レベルⅢ 以上	呼吸ケアに関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	集中ケア・慢性呼吸器疾患看護認定看護師	シリーズ7回 (5/15. 6/19. 7/17. 8/21. 9/18. 10/16. 11/20. 12/18)	18
	がん化学療法看護	レベルⅢ 以上	がん化学療法に関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	がん化学療法看護認定看護師	シリーズ7回 (6/13. 7/11. 8/8. 9/12. 10/10. 11/14. 13. 12/12. 1/9)	14

専門領域・テーマ別研修	糖尿病ケア -基礎コース-	レベルⅡ 以上	糖尿病療養指導に必要な知識と技術を習得し看護実践に活用できる	院内糖尿病療養指導士の会メンバー 慢性疾患看護専門看護師 他	シリーズ7回 (5/10.6/7.7/5.8/2.9/6.10/4.11/1)	32	
	緩和ケア	レベルⅡ 以上	緩和ケアについて知識を習得し看護実践に活用できる	緩和ケア認定看護師	シリーズ10回 (5/23.6/27.7/25.8/22.9/26.10/24.11/28.12/26.1/23.2/27.3/27)	14	
	看護研究	希望者	臨床実践に直結する看護研究ができる	看護研究支援委員会 看護研究支援委員会 旭町図書館職員	①発表会 11/30(金) ②12/7(金) ③説明会 3/12(月) 文献検索：5月22日	①312 ②242 16	
	看護倫理	レベルⅠ	看護者の倫理綱領に基づき看護倫理について考えることができる	教育委員会	7/23(月) or 8/22(水)	57	
	看護倫理	レベルⅢ 以上	看護倫理についての知識を深め実践に活用できる	教育委員会	12/5(水) or 1/11(金) or ②1/21(月)	72	
	シミュレーション教育	レベルⅢ 相当	シミュレーション教育に関する知識・技術を習得し、看護実践や教育支援に活用できる	シミュレーションプログラム委員会	①7/26(金) ②8/28(火)	25	
	シミュレーション教育 ファシリテーター研修	レベルⅣ 副看護師長	STEPⅠ. 演習を通し、リフレクション手法の理解を深める：デブリーフィング STEPⅡ. 演習を通し、リフレクション手法の理解を深める：デブリーフィングガイド作成と実施 STEPⅢ. 演習を通し、シミュレーション教育の理解を深める：活用できるシナリオ作成	シミュレーションプログラム委員会	STEPⅠ：①6/5(火) or ②6/22(金) STEPⅡ：①8/31(金) or ②9/14(金) STEPⅢ：①7/27(金) or ②12/21(金)	STEPⅠ 32 STEPⅡ 32 STEPⅢ 26	
	救急・急変時の看護	希望者	急変時や重症患者の看護について学び看護実践に活用できる	BLS院内研修担当者 外来4・5階 歯科外来看護師他	(院内BLS研修)	70	
	口腔ケア	希望者	嚥下障害と肺炎予防、口腔ケアについて学び看護実践に活用できる	ストーマケア担当看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師	12月14日	12	
	ストーマケア	希望者	ストーマケアに関する知識・技術を習得し看護実践に活用できる	ストーマケア担当看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師	ベーシック①5/17 ②7/4 アドバンス①8/1 ②9/13	ベ①16②20 ア①11 ②8	
	CVPPP(攻撃性の暴力のリスクと対処方法)	希望者	対象者及び医療者の双方の安全に配慮した暴力への介入方法の知識と技術を学ぶ	精神科認定看護師CVPPP トレーナー他	・11/27	25	
	専門領域最新情報 (up to-date) 認知症看護(患者への支援・救急看護)	希望者	専門領域における最新知識を習得し、看護実践に活用できる「認知症患者への支援・認知症患者の救急看護」	精神科認定看護師・救急看護認定看護師	・7/12	88	
	専門領域最新情報 (up to-date) 在宅用NPPV/最新の酸素療法	希望者	専門領域における最新知識を習得し、看護実践に活用できる「在宅用NPPVについて・最新の酸素療法」	集中ケア認定看護師・慢性呼吸器疾患看護認定看護師	・11/16	71	
	認定看護師等活動報告会	希望者	認定看護師の活動報告を聞き、役割の理解を深める	認定看護師	①7/13 ②8/28	①33②37	
	院外研修報告会	希望者	受講内容の共有化により、知識を深め看護実践に活用できる	教育委員会	・1/23	35	
	研修名	受講対象者	ね ら い	講師・研修担当	開催年月日	参加人数	
	看護補助者	基礎技術研修	新採用者	職務遂行に必要な知識・技術を習得する	看護部管理室他	①6/1・4 ②7/2 ③1/4	各1
		高齢者研修	全員	①高齢者の特徴を理解し、実践に活用できる	看護職キャリア開発コアセンター	9/4(火) or 9/11(火)	20
		感染対策Ⅱ	全員	感染防止のための知識と技術を習得できる	感染管理認定看護師	11/1(木) or 11/2(金)	20

(様式第4)

4. 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況(任意)

研修名	研修対象	内容	実施日	参加人数
心エコー勉強会	エコー検査技師	大動脈弁位流速計測について	4.18	4
伝達講習(臨床微生物)	生物検査部門技師	サーベイ報告会について	4.19	8
検査部勉強会	検査部技師	自己免疫性疾患総論	4.25	23
伝達講習(臨床微生物)	生物検査部門技師	スキルアップセミナー伝達講習	5.24~5.25	7
心エコー検討会	エコー検査技師	TAVI術後患者の症例提示及び検討	5.3	4
心エコー検討会	エコー検査技師	閉塞性肥大型心筋症の症例提示	6.27	2
伝達講習(てんかんに関する)	生体検査部門技師	てんかんに関する研修会の伝達講習	8.3	7
心エコー検討会	エコー検査技師	右室ICDリード穿孔の症例提示	8.29	3
血液形態カンファレンス解説	検体検査部門技師	血液形態カンファレンス解説DVD視聴	8.24~8.31	14
心エコー検討会	エコー検査技師	dyssynchronylについて症例提示	9.12	4
心エコー検討会	エコー検査技師	ドブラ法の基本、AS重症度評価の基本と注	9.19	3
心エコー検討会	エコー検査技師	潜在性左室流出路狭窄の症例提示	9.26	4
検査部勉強会	検査部技師	内部精度管理方法の基礎と実際	9.11	20
平成30年度検査部医療安全研修会	検査部技師	AED実習、採血室における急変時対応	10.24-11.1	50
内部精度管理の再確認	生物検査部門技師	内部精度管理(目合わせ)結果の再確認	11.19、11.21	5
微生物検査室の注意点確認	生物検査部門技師	オートクレーブ、火の使用について	12.18	4
グラム染色鏡検の研修	生物検査部門技師	グラム染色鏡検の好中球の判定基準	1.7	6
抗酸菌塗抹検査の研修	生物検査部門技師	ガフキー号数の判定基準の確認	1.15	5
細菌検査室システムの説明会	生物検査部門技師	細菌検査室システムの説明	1.23	6
伝達講習(髄液糖について)	生物検査部門技師	夜間休日時の髄液糖の検査について	1.28、1.31	6
伝達講習(髄液糖について)	生体部門日当直担当技師	夜間休日時の髄液糖の検査について	1.31-2.1	8
血液像目合わせの解説	検体検査部門技師	血液像目合わせ結果の解説	1.17-1.18	14
心エコー検討会	エコー検査技師	心アミロイドーシスについて	2.13	4
伝達講習(精度管理)	生物検査部門技師	平成30年度新潟県臨床検査精度管理調査の報告	3.5	6
検査部勉強会	検査部技師	二次性高血圧の臨床と検査	3.14	25
血液培養自動分析装置の説	生物検査部門技師	血液培養自動分析装置の説明	3.15	8

② 業務管理に関する研修の実施状況(任意)

研修名	研修対象	内容	実施日	参加人数
検査部勉強会	検査部技師	品質マネジメント、化学物質の取扱、廃棄物管理、患者情報守秘義務、倫理	7.19	58
医療接遇について	検査部技師	医療接遇の外部講師による講演	12.18	32
検査部勉強会	検査部技師	伝達講習(学会、研修会、災害訓練)、インデットの傾向分析	12.6	56
患者急変時対応訓練	採血室担当、技師長、部門長、ディレクター	採血室の急変患者への対応訓練	3.12、3.18	16

平成 30 年度 薬剤部門 研修実績

研修名	受講対象者	目的・研修概要	研修講師	直近の開催年月日	延べ参加人数
新任薬剤師研修	新採用者	<p>薬剤部員、薬剤師、そして社会人として求められる基礎的な知識や技能を習得させる</p> <p>①薬剤部員として：各部署内規・業務体系・医療安全管理の理解</p> <p>②薬剤師として：採用薬の医薬品情報・検査値・副作用対策、他職種・他部署との係りを理解する。</p> <p>③社会人として：就業上ルール、接遇・マナー、上司への相談・報告を正確に行う。</p> <p>◆別紙「新人教育の目的と目標」参照</p>	各部署主任	<p>○H30 年度実績</p> <p>H30/4/2 オリエンテーション</p> <p>H30/4/3 安全管理</p> <p>H30/4/5 感染管理、安全管理、 接遇研修</p> <p>H30/4/2～5/11 薬品管理室</p> <p>H30/5/14～6/8 調剤室</p>	2 人
専門領域研修 (スペシャリストコース)	採用 2～6 年 目以降	<p>認定・専門薬剤師資格の取得に向けた各領域での研修を受講し、専門的知識を深めるとともに、認定・更新に向け、計画的な単位取得を図る</p> <p>①がん、②感染制御、③精神疾患、④妊婦・授乳婦、⑤栄養療法、⑥腎疾患、⑦臨床試験、⑧内分泌・代謝</p>	各領域研修会に参加	<p>○H30 年度実績</p> <p>◆別添 3-1「認定専門資格のための研修実績①～⑧」参照</p>	
総合研修 (ジェネラリストコース)	採用 2～6 年 目以降	<p>組織の一員として果たすべき役割を理解し、リーダーシップ、マネジメント等の総合的な知識を深める。</p> <p>⑨多領域</p>	各研修会に参加	<p>○H30 年度実績</p> <p>◆別添 3-1「認定専門資格のための研修実績⑨」参照</p>	

平成30年度 認定・専門資格取得および更新に向けた研修実績

<別添3-1>

※ 各領域の研修会等で計画的な単位取得により認定者増と確実な更新を目指す。

領域	認定・専門資格名称	認定団体	2017年度認定者数(名)	2018年度認定者数(名)	新規認定準備中(名)	研修内容		受講者数(名)
						開催日	研修会名称	
がん	がん専門薬剤師	日本医療薬学会	2	2	0	2018/5/12	がん専門薬剤師全体会議	1
						2018/11/23~25	第28回日本医療薬学会年会	1
						2019/3/9~10	2019年がん専門薬剤師集中教育講座(東京・2回目)	2
	外来がん治療認定薬剤師	日本臨床腫瘍薬学会	1	1	2	2018/3/17~18	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2018	1
						2018/7/28~29	2019年がん専門薬剤師集中教育講座(東京・1回目)	1
						2018/9/16	APACCアップデートセミナー	1
						2018/10/21	実務スキルアップセミナー	1
						2019/3/23~24	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2019	2
						2018/5/26~27	第12回日本緩和医療薬学会年会	1
緩和薬物療法認定薬剤師	日本緩和医療薬学会	1	1	1	2018/11/23~25	第28回日本医療薬学会年会	1	
					2018/11/23~25	第28回日本医療薬学会年会	1	
感染制御	感染制御専門薬剤師	日本病院薬剤師会	1	1	0	2018/11/23~25	第28回日本医療薬学会年会	1
	抗菌化学療法認定薬剤師	日本化学療法学会	2	2	0	2019/2/22~23	第34回日本環境感染学会総会・学術集会	1
	インフェクションコントロールドクター(ICD)	ICD制度協議会	2	2	0	2018/5/31	第66回日本化学療法学会学術集会	1
精神疾患	精神科薬物療法認定薬剤師	日本病院薬剤師会	0	0	2	2018/9/9	第20回新潟県薬剤師のための精神科セミナー	1
						2018/9/15~16	第2回日本精神薬学会総会・学術総会	2
						2019/2/3	第21回新潟県薬剤師のための精神科セミナー	1
妊婦・授乳婦	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	日本病院薬剤師会	2	2	0	2018/5/18	東北周産期薬剤師研修会	1
						2018/5/19	日本病院薬剤師会東北ブロック第8回学術大会	1
						2019/3/8~9	第13回妊婦と薬情報センター業務研修会	1
栄養療法	栄養サポートチーム専門療法士	日本静脈経腸栄養学会	5	5	0	2019/2/14~15	第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会	4
						2019/2/15~16	NST専門療法士受験必須セミナー	1
						2019/2/14	NST専門療法士更新セミナー	1
腎疾患	腎臓病薬物療法認定薬剤師	日本腎臓病薬物療法学会	0	0	2	2018/10/20	第12回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会	2
						2018/11/23	第28回日本医療薬学会年会	2
臨床試験	日本臨床薬理学会認定CRC	日本臨床薬理学会	1	1	1	2018/9/16~17	第18回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	1
						2018/11/24~25	第3回日本臨床薬理学会関東・甲信越地方会	1
内分泌・代謝	日本糖尿病療養指導士	日本糖尿病療養指導士認定機構	1	1	1	2018/6/2	第14回新潟県糖尿病療養指導士研究会	1
						2018/10/13~14	第7回日本くすりと糖尿病学会学術集会	1
						2018/11/23~25	第28回日本医療薬学会年会	1
						2018/11/23~25	第28回日本医療薬学会年会	1
多領域	日本医療薬学会認定薬剤師	日本医療薬学会	2	2	2	2018/11/23	第28回日本医療薬学会年会	2
						2018/4/7	第4回薬剤業務セミナー	7
						2018/4/20	薬剤師のための糖尿病治療セミナー in新潟	1
						2018/4/22	シームレスな薬物療法を作る会 第3回研究会	4
						2018/5/13	第10回日本がん薬剤学会	1
						2018/5/19	日本病院薬剤師会 東北ブロック第8回学術大会 第1日目 第73回医薬品特許活用研究会シンポジウム 合同開催	4
						2018/5/20	日本病院薬剤師会 東北ブロック第8回学術大会 第2日目	3
						2018/5/27	第66回新潟県病院薬剤師会通常総会特別講演	9
						2018/6/1~2	第21回日本臨床救急医学会総会・学術集会	1
						2018/6/9	第28回新潟県薬剤師のための感染制御セミナー	6
						2018/6/22	新潟県病院薬剤師会学術講演会	4
						2018/6/23	医療薬学フォーラム2018・第26回クニカルフーマーセッションポジウム(1日目)	2
						2018/6/24	医療薬学フォーラム2018・第26回クニカルフーマーセッションポジウム(2日目)	1
						2018/6/30	第27回薬剤師のためのがんセミナー	3
						2018/7/7	第45回新任薬剤師研修会	1
						2018/7/20	新潟県病院薬剤師会学術講演会	5
						2018/7/29	日本薬学会関東支部 薬剤師向け研修講演会「感染症と抗菌薬～基本から振り返る」	8
						2018/8/18	第4回日本医薬品安全性学会学術大会	1
						2018/8/19	第4回日本医薬品安全性学会学術大会	1
						2018/8/23	中越地区オンコロジーセミナー	1
						2018/8/25	日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第12回学術大会(1日目)	2
						2018/8/26	日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第12回学術大会(2日目)	2
						2018/8/25	日本病院薬剤師会関東ブロック第48回学術大会(1日目)	2
						2018/8/26	日本病院薬剤師会関東ブロック第48回学術大会(2日目)	2
						2018/9/7	新潟県病院薬剤師会学術講演会	6
						2018/9/8	第7回新潟県医薬品安全性研究会	2
						2018/9/22	中小・療養・精神(を・で)考える会	1
						2018/9/29	第8回最新のがんセミナー「パート6」	1
						2018/10/5	新潟県病院薬剤師会学術講演会	7
						2018/10/13	第18回新潟県病院薬剤師会地域振興事業	1
						2018/10/21	日本臨床腫瘍薬学会実践スキルアップセミナー2018	1
						2018/10/27	第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum 特別講演	2
						2018/10/28	第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum シンポジウム④ 薬剤業務委員会	1
						2018/11/3	第28回薬剤師のためのがんセミナー	2
						2018/11/4	第53回病院薬学研修会	4
						2018/11/9	新潟県病院薬剤師会学術講演会	5
						2018/11/11	薬業連携で活躍！ポリファーマシー対策研修会	1
						2018/11/18	リスクマネジメント研修会	2
						2018/11/23	第28回日本医療薬学会年会(1日目)	5
						2018/11/24	第28回日本医療薬学会年会(2日目)	4
						2018/11/25	第28回日本医療薬学会年会(3日目)	3
						2018/12/16	平成30年度新潟県災害薬事研修会	2
						2019/1/19	第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会	1
						2019/1/26	薬剤師のための3つの領域(精神・がん・感染)コラボセミナー	4
						2019/2/3	第21回薬剤師のための精神科セミナー	1
						2019/2/9	第8回新潟県医薬品安全性研究会	2
						2019/2/14	第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会(1日目)	1
						2019/2/15	第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会(2日目)	1

他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況:平成30年度

研修名	開催日時	受講者数
ファンリテーター養成研修STEP I シミュレーション教育の概要、リフレクション手法の基礎、シミュレーション体験	6月2日・6月16日・9月8日・12月8日	68
ファンリテーター養成研修STEP II デブリフingの概要と演習	7月21日・8月25日・11月17日	51
ファンリテーター養成研修STEP III デブリフingガイドの作成	9月29日・1月19日	34
ファンリテーター養成研修STEP IV シナリオ作成	10月27日・2月16日	27
褥瘡担当者研修STEP I -スタッフに伝える・実践に活かす褥瘡ケアの基本を学ぶ-	7月6日・8月30日・9月26日	45
褥瘡担当者研修STEP II -指導者として褥瘡アセスメントとケアの実際を学ぶ-	9月7日・10月15日	25
褥瘡担当者研修STEP III -症例を通し児施設であつ用できる褥瘡ケアの指導方法を学ぶ-	6月8日・11月9日・12月20日	46
基礎看護技術1 点滴管理・採血・注射・輸液ポンプ・シリンジポンプ	4月13日	3
看護技術Aコース 採血・注射・血糖測定	4月26日・6月20日・8月8日・9月5日・10月3日・11月7日・12月19日・1月9日・2月6日・3月5日	38
看護技術Bコース 点滴調合・静脈留置針刺入・輸液ポンプ・シリンジポンプ	4月26日・5月30日・6月20日・7月18日・9月5日・10月3日・11月7日・12月19日・2月6日・3月5日	36
看護技術Cコース 感染管理・尿道留置カテーテル挿入と管理・浣腸・排便	5月2日・6月13日・7月18日・8月19日・11月14日・1月9日・3月6日	32
看護技術Dコース 急変時対応(BLS、挿管介助、AED)・吸引・12誘導新d年図	5月2日・6月6日・7月25日・8月8日・9月19日・10月10日・12月26日・2月20日・3月6日	53
看護技術Eコース 皮下埋め込み型ポート管理・経管栄養・胃ろう管理	5月30日・10月10日	14
褥瘡ケア研修 ずれ体験・ポジショニング・スキンケア	6月13日・8月23日・11月14日・12月26日	30
シリーズ研修 糖尿病ケア研修	5月10日・6月7日・7月5日・8月2日・9月6日・10月4日・11月1日	8
シリーズ研修 呼吸ケア	5月15日・6月19日・7月17日・8月21日・9月18日・10月16日・11月20日	4
シリーズ研修 感染管理	5月16日・6月20日・7月18日・8月29日・9月19日・10月17日・11月21日・12月9日・1月16日・2月20日	55
シリーズ研修 がん化学療法看護	6月13日・7月11日・8月8日・9月12日・10月10日・11月14日・1月9日	8
シリーズ研修 緩和ケア	5月23日・6月27日・7月27日・8月22日・9月26日・10月24日・11月28日・12月26日・1月23日・2月27日・3月27日	2
シリーズ研修 スキンケア	6月12日・7月10日・8月14日・9月11日・10月9日・11月13日・12月11日・1月8日	20
ベッドサイドから取り組む肺炎予防	7月2日	18
口腔ケアと嚥下リハビリ	8月2日	13
ストーマ研修 ①基礎編 I ②基礎編 II	①8月24日 ②11月6日	23
合計		653

研修名	開催日時	受講者数
出前研修 黒崎病院 -褥瘡予防・ポジショニング-	10月19日	73
出前研修 介護老人保健施設 葵の園・新潟島 -褥瘡につながる皮膚常態化どうか リスクの見分け方-	11月21日	29
出前研修 特別養護老人ホームやすらぎの里	11月29日	32
出前研修 介護老人保健施設 葵の園・新潟島 -感染管理-	12月11日	35
出前研修 特別養護老人ホームこぐち苑 -褥瘡ケア-	1月17日	20
合計		189

研修名	開催日時	受講者数
講演会 管理研修 -副看護師長のキャリア発達とメンタリング- 講師:新潟青陵大学大学院看護学研究科 看護管理学 教授 中根 薫 氏	2月23日	70

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦	
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 藤江 進	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴管理室, 画像診断支援室, 電算機室	※外来, 入院とも電子媒体 (一部紙媒体) ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており, やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者総合サポートセンター	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	各所掌部門において管理
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	各所掌部門において管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	各所掌部門において管理
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		監査委員会の設置状況	総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
		職員研修の実施状況	医事課	
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦	
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 土田秀樹	
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室	
閲覧の手続の概要		
様式第5の保管場所・管理方法による。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方 2 医療安全管理委員会及び医療安全管理に関わる組織等に関する基本的事項 3 医療安全管理に関する職員研修の基本方針 4 医療安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療上の事故等の発生時の基本方針 6 患者との情報共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関する基本方針 9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 アクシデントの発生防止対策に関すること 2 アクシデントの発生防止に係る教育及び研修に関すること 3 安全管理の指針及び医療安全管理マニュアルに関すること 4 その他医療安全の推進に関すること 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて)： <ol style="list-style-type: none"> 1 「医療安全管理について」「医薬品の安全管理 (2018)」「医療機器の安全管理の強化に向けて」「特定機能病院の承認要件の見直し及び医療安全監査委員からの意見について」 2 「チーム医療を支えるコミュニケーション：医療安全の視点から」 3 「本院における暴言暴力の実情について」「本院における苦情処理の実情について」 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内で発生したインシデント及びアクシデントのインシデントレポートによる報告と情報収集 ・ 医療安全対策の取り組みの評価、インシデント及びアクシデント事例等を医療安全管理部検討会での事例検討 ・ インシデント及びアクシデント事例の医療安全推進委員会での報告、改善策の立案と実施、改善状況の検証 ・ 重大アクシデント発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備 ・ 院内で発生した死亡・死産事例 (入院・外来) の全例チェックおよび検討 ・ 医療事例審議委員会、(調査専門委員会)における事例分析、再発防止の検討、他 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染に関する基本的な考え方 2 感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3 感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 感染発生時の対応に関する基本方針 6 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針 7 感染対策の推進のために必要なその他の基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染対策指針及び感染対策のマニュアルに関すること。 2 感染の予防対策に関すること。 3 感染発生時の対応及び改善策に関すること。 4 感染対策に係る情報の収集及び医療従事者への周知に関すること。 5 感染対策に係る教育及び研修に関すること。 6 感染対策の実施状況の評価に関すること。 7 関東・甲信越ブロックのエイズ治療拠点病院の業務に関すること。 8 その他感染対策に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「耐性菌のない病院を目指して ～私たちにできること～」 「質量分析法を用いた細菌の新しい同定法」 「全職員で取り組む手指衛生 ～クロスモニタリングを活用して～」 2 「免疫抑制下における抗菌薬の適正使用」 「病院スタッフが知っておきたいワクチンのこと」 「歯科外来における感染対策オーデットについて」 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐性菌、人工呼吸器関連肺炎、中心ライン関連ライン血流感染、消化器外科SSI、脳神経内科病棟尿道留置カテーテル関連尿路感染、インフルエンザ、感染性胃腸炎、手指消毒薬の払い出し状況、手指衛生遵守状況、抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施 ・ サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション、環境チェック） ・ 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し、迅速な感染防止対策を実施 ・ 感染対策基本マニュアルの作成および改訂 ・ 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は、直接的な主治医とのディスカッション ・ TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供） ・ 感染症の診断・治療および感染対策に関する相談対応 ・ 針刺し・切創、粘膜曝露対策、職員のワクチン接種などの職業感染対策 ・ 施設管理部門、清掃業者等と連携によるファシリティマネジメント 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☑有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の安全管理（2018） 平成30年4月19日：講義 ⇒上記のDVD映像の視聴：5月14日～5月18日，12月3日～12月7日 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成（☑有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ①各部署の手順書の遵守状況のチェックを実施した。評価が悪かった項目は，後日改善を確認した。 ②医薬品にかかる院内研修，適応外・未承認薬使用の審査，医薬品安全情報の院内周知等を実施した。 ③手順書の改訂を行った。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備（☑有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 未承認等の医薬品の使用は従来から使用しているものも含めて、すべて新規医療技術等管理センター（未承認新規医薬品等の担当部門）に申請があり、センターの会議で承認をしている。医薬品安全管理責任者はセンターの会議に評価委員会委員として陪席をしており、未承認等の医薬品の使用事例を把握している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 採用薬剤適正使用情報（Vol. 63～Vol. 65）の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合，院内医療情報端末を利用して，メールにて配信を行っている。配信先（医師，看護師，薬剤師，臨床検査技師，放射線技師，栄養士等）は状況に応じて選択可能。 2. 薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2か月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。 安全の扉： Vol. 24 No. 5 「脂肪乳剤の投与速度に注意！」平成30年9月 Vol. 25 No. 1 「HMG-CoA還元酵素阻害剤とフィブラート系薬剤の併用が原則禁忌から基本的注意へ」平成31年1月 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 185 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>[人工心肺装置及び補助循環装置] (12回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月13日「人工心肺・補助循環装置オリエンテーション」(回路構成と役割、注意点) OP室 ・平成30年10月30日「人工心肺・補助循環装置オリエンテーション」(回路構成と役割、注意点) OP室 ・平成30年4月9日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター ・平成30年5月9日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター ・平成30年5月14日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター ・平成30年7月10日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター ・平成30年9月12日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター ・平成30年6月6日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター ・平成30年6月14日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター ・平成30年6月25日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター ・平成30年7月12日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター ・平成30年8月15日「補助循環装置 臨床工学部門新規入職者研修」(PCPSの取扱説明と注意点) MEセンター <p>[人工呼吸器] (46回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月11日「人工呼吸器の取り扱い方法について」(使用方法と注意点) 東11処置室 ・平成30年4月19日「人工呼吸器 PB840の研修会」ICU ・平成30年4月20日「人工呼吸器(PB840)の研修会」(使用方法と注意点) 大会議室 ・平成30年5月10日「人工呼吸器(PB840)の研修会」(使用方法と注意点) 大会議室 ・平成30年5月11日「人工呼吸器(PB840)の研修会」(使用方法と注意点) 大会議室 ・平成30年6月18日「人工呼吸器「AVEA」説明会」(取扱説明) ICU ・平成30年7月9日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) MEセンター ・平成30年7月18日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) MEセンター ・平成30年8月1日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) MEセンター ・平成30年10月10日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) MEセンター ・平成30年7月23日「人工呼吸器 PB840VV+の使用方法について」(使用方法と注意点) 東3 ・平成30年7月24日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) 救急・ICU病棟 ・平成30年7月25日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) 救急・ICU病棟 ・平成30年7月26日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) 救急・ICU病棟 ・平成30年7月27日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) 救急・ICU病棟 ・平成30年7月30日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) 救急・ICU病棟 ・平成30年7月31日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) 救急・ICU病棟 ・平成30年8月1日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) 救急・ICU病棟 ・平成30年8月2日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) 救急・ICU病棟 ・平成30年8月3日「人工呼吸器 PB980についての研修会」(使用方法と注意点) 救急・ICU病棟 ・平成30年9月10日「人工呼吸器 VN500について」(使用方法と注意点) NICU ・平成30年9月13日「人工呼吸器 VN500について」(使用方法と注意点) ME室 ・平成30年9月25日「人工呼吸器 SERVO-Uの説明会」(使用方法と注意点) ME室 ・平成30年10月1日「人工呼吸器 SERVO-Uの説明会」(使用方法と注意点) ME室 ・平成30年9月25日「人工呼吸器 SERVO-Uの研修会」(使用方法と注意点) ICU ・平成30年9月26日「人工呼吸器 SERVO-Uの研修会」(使用方法と注意点) ICU ・平成30年9月27日「人工呼吸器 SERVO-Uの研修会」(使用方法と注意点) ICU ・平成30年9月28日「人工呼吸器 SERVO-Uの研修会」(使用方法と注意点) ICU ・平成30年10月10日「人工呼吸器 PB980に関する研修」(使用方法と注意点) ICU ・平成30年10月12日「人工呼吸器 PB980に関する研修」(使用方法と注意点) ICU ・平成30年10月22日「人工呼吸器に関する研修会」(基本の説明、使用方法と注意点) 医療人育成センター ・平成30年10月29日「人工呼吸器に関する研修会」(基本の説明、使用方法と注意点) 医療人育成センター ・平成30年10月31日「人工呼吸器に関する研修会」(基本の説明、使用方法と注意点) 医療人育成センター ・平成30年11月5日「人工呼吸器に関する研修会」(基本の説明、使用方法と注意点) 医療人育成センター ・平成30年11月7日「人工呼吸器 PB840について」(使用方法と注意点) 東9処置室 ・平成30年11月14日「人工呼吸器 PB840について」(使用方法と注意点) 東9処置室 ・平成30年11月15日「人工呼吸器ハミングVue(賃貸)勉強会」(取扱い説明) NICU ・平成30年11月19日「人工呼吸器ハミングVue(賃貸)勉強会」(取扱い説明) NICU ・平成30年12月4日「人工呼吸器 AVEA 勉強会」(使用方法と注意点) MEセンター ・平成30年12月5日「人工呼吸器 AVEA 勉強会」(使用方法と注意点) MEセンター 	

- ・平成 31 年 1 月 16 日 「人工呼吸器 SERVO n の新規導入研修会」 (使用方法と注意点) NICU
- ・平成 31 年 1 月 17 日 「人工呼吸器 SERVO n の新規導入研修会」 (使用方法と注意点) NICU
- ・平成 31 年 1 月 24 日 「人工呼吸器 SERVO n の新規導入研修会」 (使用方法と注意点) NICU
- ・平成 31 年 1 月 31 日 「人工呼吸器 SERVO n の新規導入研修会」 (使用方法と注意点) NICU
- ・平成 31 年 2 月 4 日 「人工呼吸器 SERVO n の新規導入研修会」 (使用方法と注意点) ME センター
- ・平成 31 年 2 月 5 日 「人工呼吸器 SERVO n の新規導入研修会」 (使用方法と注意点) ME センター

〔血液浄化装置〕 (13回)

- ・平成 30 年 4 月 26 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 5 月 2 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 5 月 14 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 5 月 29 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 5 月 30 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 5 月 14 日 「CHDF プライミング勉強会(ハンズオン)」 ICU 器材庫
- ・平成 30 年 6 月 5 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 6 月 7 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 6 月 19 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 6 月 20 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 7 月 2 日 「臨床工学部門新規入職者研修(血液浄化関係)」 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 10 月 18 日 「水処理装置、透析用水水質基準について」 (新規配属看護師対象) 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 12 月 4 日 「CHDF 勉強会」 (本院 ICU での稼働状況など/ハンズオン形式) ICU カンファレンス室

〔除細動器(AEDを除く)〕 (2回)

- ・平成 30 年 7 月 9 日 「除細動器の研修会」 (TEC-7531 の使用方法及び注意点) OP 室
- ・平成 30 年 11 月 27 日 「除細動器の研修会」 (HEART START XI の使用方法及び注意点など) 血管撮影室

〔閉鎖式保育器〕 (6回)

- ・平成 30 年 5 月 16 日 「閉鎖式保育器について」 (使用方法と注意点) NICU
- ・平成 30 年 5 月 17 日 「閉鎖式保育器について」 (使用方法と注意点) NICU
- ・平成 30 年 5 月 23 日 「閉鎖式保育器について」 (使用方法と注意点) NICU
- ・平成 30 年 11 月 14 日 「閉鎖式保育器について」 (インキューi-V-2100G の使用方法及び注意点) NICU
- ・平成 30 年 11 月 27 日 「閉鎖式保育器について」 (インキューi-V-2100G の使用方法及び注意点) NICU
- ・平成 30 年 11 月 28 日 「閉鎖式保育器について」 (インキューi-V-2100G の使用方法及び注意点) NICU

〔その他の医療機器〕 (106回)

- ・平成 30 年 5 月 17 日 「麻酔器の取り扱いと注意点」 OP 室
- ・平成 30 年 4 月 16 日 「電気メス勉強会」 (特徴と使用方法) OP 室
- ・平成 30 年 7 月 10 日 「下平式高周波電気手術器の導入時研修会」 (使用方法と注意点) 西4
- ・平成 30 年 7 月 30 日 「下平式高周波電気手術器の導入時研修会」 (使用方法と注意点) 西4
- ・平成 30 年 7 月 31 日 「下平式高周波電気手術器の導入時研修会」 (使用方法と注意点) 西4
- ・平成 30 年 8 月 29 日 「下平式高周波電気手術器の導入時研修会」 (使用方法と注意点) 西4
- ・平成 30 年 4 月 16 日 「バイポーラ勉強会」 (特徴と使用方法) OP 室
- ・平成 30 年 4 月 23 日 「超音波メス勉強会」 (原理、使用方法、注意事項) OP 室
- ・平成 30 年 5 月 14 日 「超音波吸引装置勉強会」 (取扱い方法) OP 室
- ・平成 30 年 4 月 23 日 「インフィニティ・録画装置・顕微鏡説明会」 (操作方法、注意事項) OP 室
- ・平成 30 年 7 月 12 日 「PDT 半導体レーザー説明会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 7 月 31 日 「PDT 半導体レーザー説明会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 8 月 6 日 「PDT 半導体レーザー説明会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 8 月 22 日 「PDT 半導体レーザー説明会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 10 月 2 日 「レーザー手術装置 アレックス説明会」 (使用・取扱い方法) OP 室
- ・平成 30 年 10 月 3 日 「レーザー手術装置 アレックス説明会」 (使用・取扱い方法) OP 室
- ・平成 30 年 10 月 4 日 「レーザー手術装置 アレックス説明会」 (使用・取扱い方法) OP 室
- ・平成 30 年 10 月 2 日 「レーザー手術装置 Vビーム説明会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 10 月 3 日 「レーザー手術装置 Vビーム説明会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 10 月 4 日 「レーザー手術装置 Vビーム説明会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 12 月 13 日 「レーザー手術装置 ホルミウム・ヤグレーザーの新規導入研修会」 手術部
- ・平成 31 年 1 月 7 日 「レーザー手術装置 ホルミウム・ヤグレーザーの研修会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 31 年 1 月 8 日 「レーザー手術装置 ホルミウム・ヤグレーザーの研修会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 31 年 1 月 9 日 「レーザー手術装置 ホルミウム・ヤグレーザーの研修会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 31 年 1 月 10 日 「レーザー手術装置 ホルミウム・ヤグレーザーの研修会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 31 年 1 月 11 日 「レーザー手術装置 ホルミウム・ヤグレーザーの研修会」 (使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 7 月 19 日 「Baha 手術用 Osscora 手術器械セットの研修」 (使用方法と注意点) 耳鼻咽喉科
- ・平成 30 年 8 月 20 日 「Baha 手術用 Osscora 手術器械セットの研修」 (使用方法と注意点) 耳鼻咽喉科
- ・平成 30 年 8 月 22 日 「Baha 手術用 Osscora 手術器械セットの研修」 (使用方法と注意点) 耳鼻咽喉科
- ・平成 30 年 8 月 27 日 「Baha 手術用 Osscora 手術器械セットの研修」 (使用方法と注意点) 耳鼻咽喉科
- ・平成 31 年 1 月 25 日 「超音波診断装置 ARIETTA70 新規導入説明会」 (取扱い方法と注意点) 消化器外科
- ・平成 31 年 1 月 29 日 「穿刺用超音波画像診断装置 Venue 新規導入説明会」 (使用方法と注意点) 血管撮影室

- ・平成 31 年 1 月 30 日 「穿刺用超音波画像診断装置 Venue 新規導入説明会」(使用方法と注意点) 血管撮影室
- ・平成 31 年 1 月 31 日 「穿刺用超音波画像診断装置 Venue 新規導入説明会」(使用方法と注意点) 血管撮影室
- ・平成 31 年 2 月 14 日 「超音波診断装置 ProsoundF75 新規導入説明会」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 10 月 4 日 「Aladuck 光源装置の使用方法と注意点について」 泌尿器科医局
- ・平成 30 年 10 月 17 日 「Aladuck 光源装置について」 OP 室
- ・平成 30 年 10 月 29 日 「Aladuck 光源装置について」 OP 室
- ・平成 30 年 4 月 2 日 「カールストルツ3D 内視鏡システム説明会」(操作方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 5 月 17 日 「内視鏡タワー勉強会」(種類、使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 9 月 10 日 「オリンパス内視鏡に関する研修会」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 9 月 11 日 「オリンパス内視鏡に関する研修会」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 9 月 12 日 「オリンパス内視鏡に関する研修会」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 9 月 13 日 「オリンパス内視鏡に関する研修会」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 9 月 14 日 「オリンパス内視鏡に関する研修会」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 4 月 9 日 「白内障手術装置 CENTURION 説明会」(操作方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 12 月 10 日 「耳鼻科用シェーバーなどについて」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 12 月 11 日 「耳鼻科用シェーバーなどについて」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 12 月 12 日 「耳鼻科用シェーバーなどについて」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 12 月 13 日 「耳鼻科用シェーバーなどについて」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 12 月 14 日 「耳鼻科用シェーバーなどについて」(使用方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 4 月 16 日 「自己血回収装置セルセーバーエリートについて」(使用方法と注意点) 手術部カンファレンス室
- ・平成 30 年 4 月 18 日 「自己血回収装置セルセーバーエリートについて」(使用方法と注意点) 手術部カンファレンス室
- ・平成 30 年 5 月 28 日 「自己血回収装置セルセーバーエリートについて」(使用方法と注意点) 手術部カンファレンス室
- ・平成 30 年 5 月 28 日 「Vessel sealing system 勉強会」(操作方法と注意点) OP 室
- ・平成 30 年 7 月 5 日 「生体情報モニタ(ベッドサイドモニタ)の安全管理」(取扱説明とトラブルシューティング) 大会議室
- ・平成 31 年 3 月 5 日 「生体情報モニタ(ベッドサイドモニタ)BSM-1700 について」救命センター
- ・平成 31 年 3 月 6 日 「生体情報モニタ(ベッドサイドモニタ)BSM-1700 について」救命センター
- ・平成 31 年 3 月 7 日 「生体情報モニタ(ベッドサイドモニタ)BSM-1700 について」救命センター
- ・平成 31 年 3 月 8 日 「生体情報モニタ(ベッドサイドモニタ)BSM-1700 について」救命センター
- ・平成 31 年 1 月 15 日 「食道温モニタリングシステム CIRCA S-CATH の新規導入説明会」(取扱方法等) 血管撮影室
- ・平成 31 年 1 月 16 日 「食道温モニタリングシステム CIRCA S-CATH の新規導入説明会」(取扱方法等) 血管撮影室
- ・平成 30 年 7 月 20 日 「臨床用ポリグラフ新規機能導入研修会」(取扱説明) 血管撮影室
- ・平成 30 年 7 月 31 日 「臨床用ポリグラフ新規機能導入研修会」(取扱説明) 血管撮影室
- ・平成 30 年 10 月 30 日 「アークエッセンシア脳波計の説明会」(取扱説明) 救命センター(ICU)
- ・平成 30 年 11 月 13 日 「アークエッセンシア脳波計の説明会」(取扱説明) 救命センター(ICU)
- ・平成 30 年 11 月 14 日 「アークエッセンシア脳波計の説明会」(取扱説明) 救命センター(ICU)
- ・平成 30 年 11 月 15 日 「アークエッセンシア脳波計の説明会」(取扱説明) 救命センター(ICU)
- ・平成 30 年 9 月 13 日 「体成分分析装置 In Body S10 新規導入説明会」(使用方法など) 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 12 月 18 日 「体成分分析装置 In Body S10 新規導入説明会」(使用方法など) 血液浄化療法部
- ・平成 30 年 6 月 27 日 「循環器用超音波画像診断装置 i-Lab カートシステムの研修」(操作説明など) アンギオ室
- ・平成 30 年 7 月 5 日 「循環器用超音波画像診断装置 i-Lab カートシステムの研修」(操作説明など) アンギオ室
- ・平成 30 年 7 月 11 日 「脳波スペクトル分析装置 BIS モニター説明会」(使用方法) 光学医療診療部
- ・平成 30 年 7 月 12 日 「脳波スペクトル分析装置 BIS モニター説明会」(使用方法) 光学医療診療部
- ・平成 30 年 7 月 19 日 「自動腹膜灌流装置「ホーム PD システムかぐや」使用研修会」血液浄化療法部ほか
- ・平成 30 年 8 月 24 日 「自動腹膜灌流装置「ホーム PD システムかぐや」使用研修会」血液浄化療法部ほか
- ・平成 30 年 7 月 27 日 「血管撮影装置新規導入に対する研修」(使用方法など) 血管撮影室
- ・平成 30 年 7 月 30 日 「血管撮影装置新規導入に対する研修」(使用方法など) 血管撮影室
- ・平成 30 年 8 月 1 日 「血管撮影装置新規導入に対する研修」(使用方法など) 血管撮影室
- ・平成 30 年 8 月 2 日 「血管撮影装置新規導入に対する研修」(使用方法など) 血管撮影室
- ・平成 30 年 7 月 25 日 「造影剤注入装置(オートインジェクター)新規導入に対する研修」(使用方法など) 血管撮影室
- ・平成 30 年 7 月 26 日 「造影剤注入装置(オートインジェクター)新規導入に対する研修」(使用方法など) 血管撮影室
- ・平成 30 年 7 月 27 日 「造影剤注入装置(オートインジェクター)新規導入に対する研修」(使用方法など) 血管撮影室
- ・平成 30 年 7 月 30 日 「造影剤注入装置(オートインジェクター)新規導入に対する研修」(使用方法など) 血管撮影室
- ・平成 30 年 9 月 3 日 「灌流装置 コンティニアス ウェーブⅢ関節鏡ポンプシステムの研修会」(使用方法など) OP 室
- ・平成 30 年 9 月 25 日 「膀胱鏡システム(VISERA ELITE II)取り扱い説明」泌尿器科外来
- ・平成 30 年 10 月 15 日 「多用途血液処理用装置 ACH-Ⅱ勉強会」(使用方法など) 透析室
- ・平成 30 年 10 月 16 日 「多用途血液処理用装置 ACH-Ⅱ勉強会」(使用方法など) 透析室
- ・平成 30 年 10 月 18 日 「トパーズプラス電動式低圧吸引器の取扱い方法」総合周産期母子医療センター
- ・平成 30 年 10 月 19 日 「トパーズプラス電動式低圧吸引器の取扱い方法」総合周産期母子医療センター
- ・平成 30 年 10 月 22 日 「トパーズプラス電動式低圧吸引器の取扱い方法」総合周産期母子医療センター
- ・平成 30 年 11 月 30 日 「吸引式組織生検用針向け装置 EncorULTRA システムの新規導入研修会」
(使用方法と注意点) 消化器・一般外科外来
- ・平成 30 年 12 月 7 日 「眼圧計 ライカート ORA の新規導入研修会」(使用方法と注意点) 眼科外来
- ・平成 30 年 12 月 12 日 「植込型補助人工心臓装置 Jarvik2000 ハンズオン」(第1回)
(バッテリーの交換方法、充電方法など) 内科外来
- ・平成 30 年 12 月 12 日 「植込型補助人工心臓装置 Jarvik2000 ハンズオン」(第2回)
(バッテリーの交換方法、充電方法など) 内科外来
- ・平成 30 年 12 月 13 日 「超音波画像診断装置 Vivid E95 の導入時研修会」(取扱説明と注意点) 小児科外来

- ・平成 30 年 12 月 20 日「タイムラプスインキュベーターの新規導入時研修会」(操作方法など) 西5IVF 室
- ・平成 30 年 12 月 21 日「タイムラプスインキュベーターの新規導入時研修会」(操作方法など) 西5IVF 室
- ・平成 30 年 12 月 20 日「タブレット型超音波画像診断装置 iViz の新規導入研修会」(操作説明など) 消化器内科 医局
- ・平成 31 年 1 月 16 日「タブレット型超音波画像診断装置 iViz の新規導入研修会」(操作説明など) 消化器内科 医局
- ・平成 31 年 1 月 22 日「タブレット型超音波画像診断装置 iViz の新規導入研修会」(操作説明など) 消化器内科 医局
- ・平成 31 年 1 月 23 日「タブレット型超音波画像診断装置 iViz の新規導入研修会」(操作説明など) 消化器内科 医局
- ・平成 31 年 1 月 23 日「植込型補助人工心臓装置 Heart Mate II 説明会」(駆動原理と構成、概要など) ME 室
- ・平成 31 年 2 月 5 日「植込型補助人工心臓装置 Heart Mate II における管理と注意点」病棟
- ・平成 31 年 2 月 6 日「植込型補助人工心臓装置 Heart Mate II における管理と注意点」病棟
- ・平成 31 年 2 月 18 日「Mitra Crip の勉強会」(使用方法) OP 室

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 ((有)・無)
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容 :
 医療機器 (人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、放射線照射装置、麻酔器、眼内内視鏡、歯科ユニット、高気圧酸素装置、ダウインチ、12誘導心電計、超音波診断装置) に関し保守点検計画書を策定。
 実施状況・内容等は院内の他職種により構成される委員会 (委員長: 医療機器安全管理責任者) にて評価を受ける。
 ※保守点検計画書には、医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検を実施する予定の時期、間隔、条件等を記載。また、機器台帳にて修理履歴を保管

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有)・無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) :
 病院長を委員長とした“新規医療機器等管理センター”にて検討を行うことになっている。また、実際に使用された場合にも、この委員会に報告することになっている。
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
 厚生労働省等の行政、PMDA 及び日本医療機能評価機構からの通知、並びに各種学会等のホームページや機器メーカーから情報を ME センターが収集し、該当医療機器に携わる者へ直接通知を行う。また、院内 web サーバーにも掲載し院内に情報を周知している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 責任者の資格 (医師・歯科医師) ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理部長として院内の医療安全に関する管理部門に所属し統括 ・ 医療の安全管理体制の確保及び推進のための医療安全推進委員会及び重大な事例が発生した場合の適切な対応策等に関する事項を審議する医療事例審議委員会の構成員並びに運営 ・ 医薬品の安全管理のための体制確保として医薬品安全管理責任者の実施業務及び医療機器に係る安全管理のための体制確保として医療機器安全管理責任者の実施業務に関し、取り決めを行う各専門部会の構成員となり統括 									
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (1名) ・無								
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤部において、院内の医薬品使用状況の定期的 (月一回程度) な確認及びその結果を踏まえた添付文書情報 (禁忌等)、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報の報告 ・ 薬剤部からの報告をもとに、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報の周知 ・ 全部署のリスクマネージャーが出席するリスクマネージャー全体会議においても改めて医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知し、リスクマネージャーは自部署職員への周知が完了した旨を報告書として提出してもらうこととしており、全部署からの周知完了報告書の提出をもって確認 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤部において、医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用 (以下、「未承認等の医薬品の使用」という。) に該当するか否かの把握 ・ 未承認等の医薬品の使用について審査する委員会で承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認と事後に把握した適応外使用医薬品に係る処方の妥当性等の確認と処方した医師等へ処方の変更等の提案 ・ 薬剤部からの報告をもとに、未承認等の医薬品使用の把握の状況の定期的な確認と必要に応じた当該把握方法の見直し、及び必要に応じて医師等に対する指導等と院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報の共有 ・ 担当者の指名の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無) ・ 担当者の所属・職種： <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(所属：薬剤部, 職種 薬剤師)</td> <td style="width: 50%;">(所属： , 職種)</td> </tr> <tr> <td>(所属： , 職種)</td> <td>(所属： , 職種)</td> </tr> <tr> <td>(所属： , 職種)</td> <td>(所属： , 職種)</td> </tr> <tr> <td>(所属： , 職種)</td> <td>(所属： , 職種)</td> </tr> </table> 		(所属：薬剤部, 職種 薬剤師)	(所属： , 職種)	(所属： , 職種)	(所属： , 職種)	(所属： , 職種)	(所属： , 職種)	(所属： , 職種)	(所属： , 職種)
(所属：薬剤部, 職種 薬剤師)	(所属： , 職種)								
(所属： , 職種)	(所属： , 職種)								
(所属： , 職種)	(所属： , 職種)								
(所属： , 職種)	(所属： , 職種)								

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無) ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 : ・ 医療法施行規則等の改正に伴い、患者が内容を十分理解できるような文書を用いた医療者からの説明が行われているか、また、患者の明確な文書による意思表示は行われているかについて、インフォームド・コンセントの定期的な監査を実施している。 ・ インフォームド・コンセントに関する基本方針、インフォームド・コンセントの実際(説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法などの留意事項)、インフォームド・コンセントの取得フローチャート、インフォームド・コンセントを必要とする医療行為を定めている。 	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療録監査委員会内規に基づき、定期的な診療録監査の実施及び診療科へのフィードバック 	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専従（4）名、専任（2）名、兼任（24）名 <ul style="list-style-type: none"> うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（15）名 ※歯科医師（兼任）3名含む うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（1）名、兼任（2）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全推進委員会に係る運営及び事務 2 医療事例審議委員会に係る運営及び事務 3 アクシデント又は病院長が必要と認める事象(以下「事象等」という。)が発生した場合は、事象等に係る次に掲げる事項 4 医療の安全管理に係る教育、研修及び連絡調整 5 医療の安全確保に資する診療の状況把握及び対策の推進 	

6 職員の医療の安全に関する意識向上の状況確認

7 医事紛争及び医療訴訟の対応

8 各部署における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びに作成した業務改善計画書に基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録

9 医療安全推進委員会及び医療事例審議委員会との連携状況，院内研修の実績，医療安全対策に係る患者等の相談件数及び相談内容，相談後の取扱い並びにその他の医療安全管理者の活動実績の記録

10 医療安全管理部検討会に係る運営及び事務

11 その他アクシデントの発生防止及び医療の安全性の向上に関し必要な事項

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・ 活動の主な内容
 - 1 高難度新規医療技術，未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用（以下「新規医療技術等」という。）の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
 - 2 新規医療技術等の実施の適否の決定に関すること。
 - 3 新規医療技術等の実施後の定期的な手術記録，診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 4 新規医療技術等の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において，その新規医療技術等の手術記録，診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 5 その他新規医療技術等の実施の安全性の確保に必要な事項
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

- 1 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
- 2 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の適否の決定に関すること。
- 3 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
- 4 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
- 5 その他未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の安全性の確保に必要な事項

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・無 ）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 389 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 112 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- ・院内における入院・外来全死亡（死産含む）症例について、医療安全管理部でリストアップを行い、事例件数の報告及び事例検証を実施
- ・院内の入院患者における全死亡・死産症例について、主治医・担当医に報告することを義務化し、報告実施状況の確認及びその結果について報告
- ・重大な事例が生じた場合、速やかに原因究明のための調査及び分析、分析結果を基に改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知、方策の実施状況の調査及び必要に応じ方策の見直しの実施

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ （病院名： 大分大学医学部附属病院） ・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ （病院名： 山口大学医学部附属病院） ・無）

・技術的助言の実施状況

◆当院から大分大学医学部附属病院への助言

- ・クオリティマネジメント室と医療安全管理部の直接の連携や情報伝達を行うことで、モニタリング項目（周術期の肺血栓塞栓症、手術の予定および実測出血量、手術の予定および実測手術時間）を一層有効に活用できるのではないかと。
- ・病院全体で取り組む医療安全の活性化、多職種からの意見を反映させた対策のために、歯科医師・臨床検査技師の医療安全管理部門への配置ができると良いのではないかと。

◆山口大学医学部附属病院から当院への助言

- ・合併症やオカレンスの項目について定められていないので、報告を促進するためにも項目について定めておくことが望まれる。
- ・医療安全にかかわるモニタリング項目を今後よりいっそう充実させて頂くことが期待される
- ・高難度新規医療技術の担当部門の職種については医師、歯科医師、薬剤師で構成されているが、できれば看護師の参加が望ましい
- ・高難度新規技術提供後の報告数であるが、有害事象が発生した際には必要報告数を見直すこととされているとのことであったが、規定に定めておくことが望ましい

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
- ・患者からの医療安全管理に係る相談等に対し、対応できるよう窓口を常設している。また、院内掲示により設置場所、担当者、責任者及び対応時間等を患者等に明示している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
- ・平成30年度の医療安全管理研修会において、インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、eラーニングを用いて学習効果を測定した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況
- ・管理者、医療安全管理責任者及び医薬品安全管理責任者は責任者として当該業務を適切に行うため、知識及び技術習得を目的に院外研修会に参加・受講している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 1. 医師法に基づく医師免許証を交付された医師であること 2. 学識に優れ，教育研究，診療及び病院経営に識見を有し，かつ，管理運営能力を有する者で，以下の基準を全て満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ① 医学博士又は博士（医学）の学位を有し，教授相当の十分な業績を有する者 ② 総合病院において病院長，副病院長，診療科長，中央診療部門長もしくは同等職の経験を有する者 ③ 様々な医療環境の変化に対応しながら，強いリーダーシップを持って病院運営及び経営にあたる意欲がある者 3. 医療安全管理業務を経験し，医療安全の確保に必要な資質・能力を有する者で，以下の基準を全て満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療安全管理責任者，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者の業務経験を有する者，又は医療安全管理委員会もしくは同委員会に準ずる委員会の構成員であった者 ② 医療安全管理業務経験を踏まえ，医療安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 	

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
牛木 辰男	新潟大学理事	○	学長が指名した理事	有・無
遠藤 直人	新潟大学医歯学系		病院運営会議構成員	有・無
小林 正治	新潟大学医歯学系		病院運営会議構成員	有・無
高桑 好一	新潟大学医歯学総合病院		病院運営会議構成員	有・無
染矢 俊幸	新潟大学医学部長		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属する者	有・無
前田 健康	新潟大学歯学部長		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属する者	有・無
那波 宏之	新潟大学脳研究所長		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属する者	有・無
渡部 透	新潟県医師会長		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属しない者	有 無
藤山 育郎	新潟県福祉保健部長		病院運営協議会構成員のうち新潟大学に所属しない者	有 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無（平成30年10月1日施行）	(有)・無		
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ul style="list-style-type: none"> ・医歯学総合病院（以下「病院」）の運営方針に関する事項 ・病院の中期目標・中期計画に関する事項 ・病院の予算及び決算に関する事項 ・病院の教員の選考に関する事項 ・病院の組織に関する重要事項 ・病院の教育・研究及び診療に関する重要事項 ・その他病院の管理・運営及び経営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 <ul style="list-style-type: none"> ・医科系及び歯科系運営会議及び連絡会議において周知。 ・院内会議システム（Web）にて会議資料を随時閲覧可能。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（(有)・無） ・公表の方法 <ul style="list-style-type: none"> 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・(無)） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
富田 善彦	○	医師	病院長
土田 正則		医師	副病院長
南野 徹		医師	副病院長
若井 俊文		医師	副病院長
鳥谷部真一		医師	副病院長（医療安全管理部長）
菊地 利明		医師	副病院長
小林 正治		歯科医師	副病院長
齋藤 功		歯科医師	副病院長
杉田 洋子		看護師	副病院長（看護部長）
藤江 進		事務職員	副病院長（事務部長）
堀井 新		医師	病院長補佐
瀬尾 憲司		歯科医師	病院長補佐
外山 聡		薬剤師	薬剤部長
金澤 勉		放射線技師	診療支援部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表
- ・ 規程の主な内容
新潟大学医歯学総合病院規程第3条において、「病院長は、病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括し、第13条により設置する新潟大学医歯学総合病院運営委員会が審議した病院の管理及び運営に関する重要事項に関し、その決定に関する権限と責任を有するものとする。」と規定。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
新潟大学医歯学総合病院規程第4条及び5条において、副病院長を置くこと及び病院長補佐を置くことができることを規定。
副病院長の役割は、病院長の職務を助け、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名する副病院長が、その職務を代理するほか、各副病院長に「総括」「歯科総括」「企画戦略（研究）」「企画戦略（医科歯科連携）」「診療・病院機能」「医療安全管理」「感染管理・教育」「看護（地域連携）」「総務・財務」の各担当を命じている。
また、病院長補佐の役割は、病院長が諮問又は指示した事項について、調査、企画・立案するとともに、その実施に関して病院長の職務を補佐するものとするほか、各病院長補佐には「病院機能強化（医科）」「病院機能強化（歯科）」を命じている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
全国会議、関係機関が主催する担当者研修会等に参加。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 医療安全管理責任者の業務、医療安全管理部門の業務、医療安全管理委員会の業務、医薬品安全管理責任者の業務、医療機器安全管理責任者の業務、及びその他医療安全管理全般に関する業務についての監査を実施。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法： 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
上村朝輝	元 済生会新潟 第二病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 (無)	1
月岡 恵	元新潟市保健 所長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 (無)	1
三部正歳	りゅーと法律 税務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有 (無)	1
田代文俊	新潟大学 (監 事)		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	(有)・無	2
牛木辰男	新潟大学 (理 事)		その他学識経験を有する者	(有)・無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容
本学監査室において、本学の業務及び会計処理の状況について、適法性及び合理性の観点から調査及び検証を行い、適正かつ効率的な運営を確保するための内部監査を実施。

・ 専門部署の設置の有無 (有 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 無)

・ 公表の方法
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 病院運営協議会において、運営方針に関する事項、中期目標・中期計画に関する事項、予算・決算に関する事項、教員の選考に関する事項、組織に関する重要事項、教育・研究及び診療に関する重要事項、その他管理・運営及び経営に関する重要事項について、病院長に報告させ、業務を監督する。 ・ 会議体の実施状況（年2回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年2回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
牛木 辰男	新潟大学理事	○	有・無
染矢 俊幸	新潟大学医学部長		有・無
前田 健康	新潟大学歯学部長		有・無
那波 宏之	新潟大学脳研究所長		有・無
渡部 透	新潟県医師会長		有・無
藤山 育郎	新潟県福祉保健部長		有・無
山岸美恵子	新潟県薬剤師会相談役		有・無
佐々木綾子	新潟県村上地域振興局保健福祉部長		有・無
河原 和夫	東京医科歯科大学医歯学系専攻		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有 無)
- ・ 通報件数 (年〇件)
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (有 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有 無)
- ・ 周知の方法
 - ・ 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表
 - ・ 職員向け「医療スタッフマニュアル」

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・公益財団法人日本医療機能評価機構：認定期間 2014年12月20日～2019年12月19日 認定発行日 2015年4月3日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。 ・ 広報誌「和」を発行している（年2回程度）。 ・ 診療案内冊子を毎年作成（更新）し、県内全医療機関へ送付している。また、診療担当医一覧を四半期ごとに作成し、県内全医療機関に送付している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「がんセンター」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。 ・ 「医療連携口腔管理チーム」によって、入院患者の周術期口腔機能管理の医科・歯科連携強化を進めている。	

(様式第 8)

新大病医第 262 号
令和元年 11 月 18 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人新潟大学
高橋

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

特定機能病院管理者研修の受講について

- ・管理者は令和元年 10 月 28 日に 2 日目の研修を受講済，12 月 17 日に 1 日目の研修を受講予定
- ・医療安全管理責任者，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者は令和元年 10 月 27 日，28 日に研修を受講済

2. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち医師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち看護師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

--